

# 特集5 学年代表思い出

## 無所属・女性議員だから こそできること

昭和41年卒  
田中 和子

国立の研究機関で食物アレルギーの研究に取り組み、充実した生活を送っていた。文京区議会に女性議員を増やしたいという友人たちに押されて当選し、無所属議員として五期目を迎えた。無所属で何が出来るの？といわれるが、無所属であるからこそ政党略にとられることなく議会政策提言できる。また、議員の仕事は「よろず相談所」で終わるのではなく、政策や施策につなげるために議会内での調整力も必要であり、無所属議員にはそれができる。かつ、女性議員であればこそ政策・施策、予算・決算をジェンダーの視点で点検できる。

私の経験から二つをご紹介したい。  
①マンシヨン建設反対運動に関わった経験から一紛争予防と解決を目指す議員学習会をえて自民党議員と組んで行った。講師には中立的な専門家を、行政からは課長と担当者の出席も得た。行政はこの講師からアドバイスを受け、住民・建築当事者に区が関与し「関係者会議」を開く、

斡旋には建築の専門家や弁護士が務める「建築相談員」を置く、高さ一〇m未満の建築物も対象とする等の要綱を制定した。区は積極的に業務改善に取り組んでいる。  
②東京二三区初の女性議連を立ち上げ一〇一五年の統一地方選で文京区議会議員三四名中女性議員は四名で四〇%を超えた。私は女性議員に声をかけ、超党派の一二名で「政策研究女性議員連盟」を立ち上げ、政党の垣根を超えて、困難を抱える女性たちや虐待についての政策提言を今期も続けている。

私は、「女性が政治に参画することで、政治や社会をどう変えられるか」を絶えず自分に問いながら活動している。女性議員が増えれば、確実に政治は変わっていく。岐阜県内で女性議員ゼロ議会がなくなることを願っている。



## 「高校選抜制度に思う」

昭和52年卒  
久松 明美

はじめに、今回このような機会を頂いたこと深く感謝致します。自分なりに高校時代をしみじみと思えばすことができました。もう、四五年が過ぎたのですね。

思い起こせば私たち昭和五二年卒が入学したのは、当然ながら昭和四九年の四月です。岐阜県に於いて六学区学校群制度（S四九～S五七）が開始された年になります。この制度は、伝統と名声の高い高校（岐阜高校）への過度の人氣集中を防ぐという目的で導入されたものだと聞いています。一群が長良校―岐阜高校 二群が岐山高校―長良高校 三群が岐阜北高校―岐山高校 四群が加納高校―岐阜北高校 五群が加納高校―岐阜高校とベアリングされていました。私は、一群を受験し幸運にも？岐阜高校に入学することになりました。

この制度により岐阜高校は、学力が離れた学生を受け入れたことから教育の効率性、生産性が著しく下がりました。京都大学への進学人数は、前年度までの半数以下に低下

たそうです。岐阜高校の黒歴史でしようか。この制度は、「新しい不平等が生じた」という理由で廃止となりました。当時同様の目的で東京都、千葉県、愛知県、岐阜県、三重県、福井県でも行われていたようです。

人生は、時に自分では何ともならないことが起こります。現在問題の新型コロナウイルスの蔓延も明らかです。その状況を悲観するのではなく前向きに捉えてこれからも歩んで行きたいです。無理やり、時事と関連付けてしまいましたが、現在の私を作っているひとつに学校群制度があるんだなあと今さらながら感じています。

※参考―社会実験としてみた「学校群制度」の検証― 和田良子著



# 目指すは晴耕雨読

昭和52年卒  
石井 勇人

バブル経済絶頂期の一九八〇年代後半、私は「トロッコ」(キシヤ未満)を終えて経済記者になりました。携帯電話もない時代で、日銀総裁や閣僚らの会見で重要な発言があれば、直ちに飛び出し、頭の中で原稿をつくり、電話まで疾走して記事を出すという、文字通りの「駆け出し」記者でした。

当時の日本経済のプレゼンスは極めて大きく、ロイターなどの外国通信社が相次いで東京駐在を増強。対抗上、共同通信も米国取材を強化し、私はワシントンに転勤しました。「走って電話」は同じでしたが、ヤマテイやオヤタンで磨き上げた英語は無効でした。同じ時期にウルグアイ・ラウンド(多角的貿易交渉)などの通商交渉の取材が激化し、過労死しなかったのが不思議なくらいです。

帰国すると、バブル経済は崩壊、インターネットの普及で速報合戦はピークを越え、私の興味は通商分野に移り、中でも食料・農業分野は、安全保障、国土形成、文化などの面

でも重要だと考えるようになりまし  
た。米通商代表部(USTR)を題  
材にした洋書「通商戦士」を翻訳・  
出版したのもこの頃です。ヤマテイ  
やオヤタンの威力を再認識しまし  
た。

一回目の転勤先は岐阜支局でし  
たが、直前に恩師の西尾昭夫先生(日  
本史)が亡くなり、再会できなかつ  
たのは痛恨の極みです。昨年に東京  
に戻り、共同通信グループ内に「ア  
グリラボ」という食・農の情報を発  
信する新組織をつくる仕事をしてい  
ます。私の後継者が育ったら、小さ  
な畑で晴耕雨読(時々お酒)の生活  
を送りたいな。西尾先生の晩年のよ  
うに。



# 一年三組の頃

昭和52年卒  
守屋 聡

霞がかかったような高校時代の記  
憶の中で、所々妙に鮮明なのは一年  
三組の頃のことです。

最初から男子校なら諦めもつくも  
の、まさか共学校に入学早々男子  
クラスに放り込まれるとは思っても  
らず、休み時間のたびに皆が廊下で  
たむろして隣のクラスのマドンナ(?)  
を「見物」して叱られたりしたのは、  
ほろ苦くも甘酸っぱい思い出です。

クラスは多士済々で、無頼派の川  
島君が剛腕のリーダーなら、冷静沈  
着な岡田君は頭脳派の典型。  
彼らと、カメラ小僧だった村上君、  
いつも同期会の幹事をしてくれる東  
君は交換日記をしていたようです  
が、いったい男四人で何を書くこと  
があったのか。今でも謎です。

他にも、いつも斜に構えたような  
筑摩君やシティボーイを気取る萩原  
君、大人の風格を漂わせた今は亡き  
浅野君、笠松の御曹司の松波君、バ  
ド部のエースで長身の伊藤君、「花  
は桜木、男は三組」応援部の稲葉君  
などなど、まるで動物園のような賑  
やかさでした。

田舎の中学生だった僕は煽られる  
ように、高橋和巳や柴田翔を読み散

らかしたり、ピンク・フロイドやキ  
ング・クリムゾンを聴きかじったり  
して、精一杯背伸びした毎日を送っ  
ていたように思います。

先生方も個性的で、浅井先生には  
「数学というより「別解を求めぬ精神」  
とでも言うべきものを教わった気が  
します。生徒が必死に解いた答えを  
見て「確かに合っているけど、エレ  
ガントじゃない」と言い放たれた時  
は衝撃でした。

英語の下川先生は大学を出たばか  
りで初々しく、壊れた椅子に座らせ  
るなど悪ガキたちの悪戯の恰好の餌  
食にされていましたし、逆に、音楽  
の大前先生の授業では生徒一同が泣  
かされました。

森田公  
一の歌が  
街に流れ  
る頃、僕  
たちはま  
だ「道に  
迷って  
るばかり」  
の日々で  
した。



# ヒューマニズムに触れて

昭和62年卒  
サソーン美和

二〇〇四年に渡米して、娘の通っていた高校のPTA活動を発端に、私のアメリカ生活が大きく動き始めました。高校にはイラン人保護者会や中国人保護者会があったので、もう一人の日本人保護者と協力して、二〇〇一年の一月に日本人保護者会を立ち上げ、現地校の情報を日本人保護者に向けて発信していました。そんな時に起きたのが二〇〇一年三月の東日本大震災です。

CNNで映像を見てショックを受け、保護者会として支援をすることにしました。社会への貢献を子供に教えることを理念としている「Team Kids」と協力して、高校の昼休みにベイクセールをしたり、週末は洗車イベントやガレージセールをしたりしました。この活動中に日系アメリカ人グループと知り合いました。彼はNPO団体を立ち上げ、若い日系人に日本の文化と社会への貢献を伝えています。そして、彼の農園で毎年イベントを開催し、入場料などの八〇〇万円、一、〇〇〇万円を被災地に寄付しています。保護者会退陣後、グレンの団体の震災支援活動を本格的に手伝いました。震災から五年が経とうとしており、今後も支援を継続するために大学への奨学金プログラムを提案しました。被災地の大学にグレンらの活動を説明し、なんと二〇一六年から岩手大学と、昨年からは福島大学とも奨学金プログラムを始めます。受給者一人、最大で公立大学の年間授業料相当分である二〇〇万円を支給する返済不要奨学金です。

受給者が将来何等かの形で被災地に貢献してくれることを期待しています。ここアメリカでは困っている人を助けるために、今の問題を解決するため、自分に何ができるかという問いかけを耳にします。震災の時「Team Kids」の子供たちはレモネードを売って日本を支援してくれました。グレンと若い日系人はボランティアとして七〇〇人が毎年震災支援イベントを手伝ってくれます。彼らは日本だけでなく火事で大変な目に遭ったカリフォルニアの農家なども支援しています。

五〇セントのカップケーキのおつりを寄付する高校生、年一回のイベントで被災地を思っかき氷のブースを手伝う日系人中学生。彼らの姿こそがアメリカ人が時間をかけて培ってきた価値観の体現だと実感しています。日本人である私がここで何ができるのか？と問いつつ、少しでも息の長い支援を続けられるよう今も模索しています。この活動が自分にとつて日本人であることを確認する大切なライフワークになるのかもしれないと思っています。



# 「韓国で校則を考えた」

昭和62年卒  
境田 未緒

「岐阜の高校は校則が厳しいんだってね」。特派員としてソウルに勤務していた昨秋、知り合いの韓国人記者に言われて面食らった。「下着は白色とか」と付け足され、岐阜県立高校で下着の色などが決められた「ブラック校則」がニュースとなっていたことを思い出した。

高校時代のことは実はよく覚えていないが、下着の色までとやかく言われた記憶はない。スニーカーはワンプイントも駄目だとか、コットンシャツを着ていて某先生に「カーテンみたいやな」と言われたことはあったが、総じて中学時代に比べれば校則は緩かった気がする。そんな言い訳をしつつ、韓国人記者たちが、ブラック校則で「岐阜」を記憶するのかと思うと、少し悲しかった。

ソウル市では二年ほど前、頭髪と制服の自由化が打ち出され、多くの中学校でカラーリングやパーマが自由になった。一方で女子生徒の制服は、ぴったりしたシャツにミニスカートの流行が続いていた。最近やっと、女子生徒自身から「か

わいくても窮屈な制服は嫌だ」といった声が挙がり、Tシャツやフーディーパーカー、ハーフパンツなどの制服が登場。大きな流れになるかは分からないが、すぐに生徒たちの意見を聞き入れて話し合い、変えていく姿勢は見習っていいのではと思った。さて、岐高への入学前、制服を買いに行った百貨店の店員さんに「岐阜県で一番ダサイ制服」と言われた女子制服のデザインは、今も変わらないようだが、現役の後輩たちは、どう着こなしているのだろうか。



## 古き時代の良きもの、 レガシー (Legacy)

昭和62年卒  
中神 啓徳

私は高校卒業後、関西で大学生活を送り、この二〇年程の生活拠点は大阪になります。自宅近くに万博記念公園があり、私が生まれた頃、大阪万博の古き時代に建てられた太陽の塔を真近で眺めて暮らしています。当時からかなり奇抜な建造物であったと推察されますが、今もその不思議な魅力は色あせることもなく、大阪のレガシーです。二〇二五年に開催予定の大阪万博に、このレガシーの果たした精神的な役割は大きいと思います。ちなみに、写真左下に小さく見える建物は、山崎豊子によって白い巨塔として小説化された、現在の大阪大学医学部附属病院です。すっかり近代化された病院に生まれ変わってしまい、あまりレガシーを感じないのが残念です。

自分が高校生の頃の記憶は薄れる一方ですが、子供が成長し高校生になると自分の高校時代と重ね合わせると昔を思い出したりします。自分とは時代も土地柄も異なるものの、部活や塾、試験などのイベントや駅までの自転車通学などあまり変

わらない。一方で、携帯やスマホは昔の我々にはないツールであり、メモの代わりにスクショ、切符や現金の代わりにICOCA（関西限定）、LINEで友達と情報共有して効率良い日々を送るのも悪くないと思う。ふと、机の上の英語辞書に赤線が引かれているのを見つけて、懐かしく嬉しい気持ちになったりもしています。

私の故郷である岐阜のレガシーは、金華山頂に聳え立つ岐阜城か、今も変わらぬ冷やしタヌキ蕎麦の味か、次回同窓会で岐阜を訪れるのを楽しみにしたいと思えます。



## 近況報告

昭和62年卒  
川崎 賢二

同窓会会報誌への寄稿依頼がありましたので、高校時代の思い出を振り返ってみました。今となっては、これといった出来事も浮かびませんが、今でも記憶にあることは生徒会長を務めたことです。ありがたいうちに周りにいる同級生の多くは、数十年も前に私が生徒会長をしていたことを未だに覚えてくれています。毎年学年の同窓会を開催する際にも、「やっぱり生徒会長がいないと。」と言われながら誘われています。今回の同窓会の運営では、委員会内で学年の代表となる副委員長を仰せつかりましたが、これもきつと高校時代の経歴による期待があったことと思っています。

私は現在、岐阜市役所新庁舎の建設予定地のすぐ隣のビル内で税理士事務所を営んでおりますが、歳を重ねるにつれ、岐阜地方裁判所及び簡易裁判所の民事調停員及び岐阜家庭裁判所の家事調停委員の他、愛知学院大学大学院法学研究科の教授（客員）に就任し、最近では税理士業界を代表して財務省の公職である

税理士試験の試験委員に任命され、三年間も務める機会に恵まれました。お声がかかるうちが華であると感じた。自分に言い聞かせながら、本業だけでなく社会貢献活動もしっかり行っています。思えば、生徒会長になった時も同じような気持ちだったのかなど。今も昔も周りから乗せられ、気が付いたら自分のことよりも皆の為に汗をかいていることは、変わっていません。

高校を卒業してから早数十年も経ち、この間に昭和六二年卒の同級生達も、各々の分野で活躍をしています。私も、故郷である岐阜の地で高校時代と同様に頑張っていることをご報告すると共に、一〇年後の同窓会総会時には同級生全員で同窓会の運営ができることを願っています。



## 鈴木康道先生のこと

平成9年卒

荒木阿紀子

(旧姓 水谷)

鈴木先生は一年生のときの担任だった。入学式の日だったと思うが、教壇に立たれた先生は、ついこの間まで中学生だった私たちに向かって、「今日からあなたたちを大人として扱います」とおっしゃった。その言葉通り、先生は私たちの個性や力を信じて、温かく見守ってくださった。だから私たちのクラスはのびのびとしていて、とても楽しかった。私は文系科目がとても得意で、理系科目がひどく苦手だったのだが、先生は変化に富みすぎる私の成績にも、「味があつてよらしい」とおおらかに笑われた。大学でフランス語を学ばれた先生は、語学が大好きな私に、英語だけでなくフランス語の基礎も教えてくださった。今、外国語を使う仕事に携われているのも、ひとえに先生のおかげだと思つた。



窓会総会の日の夜に、先生からメールが届いた。「三年後にはあなたたちの学年が担当学年になりますね。その時は、私は三年生まで担任をしていなかったなので、ご招待はされないうことになります。が、二次会だけはこつそりと参加してしまおうかしらと考えています。絶対にその時までは生き延びる予定です」今ごろワインを片手に、大人になった私たちを眺めていらつしやるに違いない。先生が亡くなって、この四月で一年になる。

## 思い出に感謝

平成9年卒

奥村衣里子

(旧姓 種村)

「学生」という肩書は私の人生の中で一八年間という時間を占めている。中でもふとした瞬間に呼び起こされる記憶としては、高校時代がダントツ一位である。一般的に多感な時期を思い出しやすい、ただそれだけなのかもしれないが、まさに「あの日あの時あの場所で」の鮮明度である。その内容には深い意味のない事例も多い。長い解答を黒板からはみ出して壁になぐり書きする長身の数学教師、毎日同じネクタイを締めチューリップ鉢に水をやる英語教師、床にささくれた穴のあるカビ臭い旧体育館。



「ちゃんと大切な記憶もある。入学式後一年五組のホームルームで「君たちはもう大人です。先生をアテにしないように。」と笑顔で言い放つ担任。私は二年間その先生に英語を担当していただいた。残念ながら英語の成績は伸びなかったが、雑談はいつも盛り上がった。「雑」の中に「真」がある話が面白かった。卒業後も年に二、三回メールで近況を報告し合い、途切れることはなかった。

最近可愛いお孫さんの写真付きで。二〇一七年正月、一年五組のクラス会が小規模ながら開かれた。先生は「みなさん、やっぱり立派になりましたね。あの頃、偉そうなことを言わなくて良かった。」と嬉しそうに挨拶してくださいました。それから先生は病と闘われ、二年余り経ったころ、「主人は最期までとても頑張りました。」と奥様からご連絡いただいた。大切な思い出たちに、ただただ感謝の気持ちでいっぱいである。

## 夜の水泳

平成9年卒  
佐伯 敏

高校時代に思いを巡らすことはめつたにないが、音楽がふいに当時の記憶とリンクすることがある。聖マリアの子たちと合コンしたときに友人が得意げに歌っていたミスチルの歌とか、クリスマス、女の子にプレゼントをわたそうか逡巡しているときに柳ヶ瀬のアーケードでかかっていたマライア・キャリーの歌とか、そういう類いだ。

そんな曲のひとつにR. E. M.のナイトスイミング、という曲がある。曲はシンプルなピアノとストリングスの演奏に「夜の水泳には静かな夜がいい／ダッシュボードに置かれた何年も前の写真…」と歌詞がのる。実際に曲を知ったのは大学に入ってからだ。

おそらく高校三年生の夏だったと思う。日付が変わるまでサッカー部の友人たちと騒いだものの、タクシーで帰るお金はない。いま思えば自転車で帰れば済む話だが、なんとなく部室にたまっていてうちに、夜のプールに忍び込んで泳ぐことになった。



暗い水面に真白でまん丸な月が、まるでぶかぶかと浮かぶようだ。ひとつ、またひとつ…？いや、満月のように見えたのは平泳ぎをする友人たちのお尻ではないか。あまりにも幻想的な風景は今も脳裏から離れようとしな。四〇を過ぎたというのに、鮮やかだ。

三年ほど前に駐在していた中東のエルサレム。夕方、なじみのカフェのテラス席にいと、ナイトスイミングが流れてきた。陽気なイスラエル人の店員が曲にあわせてメロデーを口ずさむ。古い建物の間からは丸い月がのぞいていた。

## かけがえのない仲間とともに

平成9年卒  
松原 佳弘

岐阜高校を卒業して二四年を迎えた今、年月の経過の早さと共に、在学三年間の思い出を懐かしく思う。入学後は個性派揃いの男子クラスの中で、厳しい勉学に耐えつつも、笑顔の絶えぬ友人達との日常的な会話から、互いの価値観を尊重しながら熱い議論を重ねる日々を過ごした。一年生の後期からは、担任の先生に後押しされ、親友と共に生徒会を二期務めた。生徒会活動の中でも学年の枠を超えた先輩や後輩との強い絆の中で、学校行事の運営や部活動の予算折衝に携わった。

優秀な仲間に囲まれて過ごしたこの三年間は、自己の人格形成において、この上なく貴重で、今でも本音で語り合える多くの親友と巡り合えたことが、かけがえのない財産となった。

卒業後は、県外の大学、大学院に進学し、現在は素材メーカーに勤めている。グローバル化のもと、入社一七年間で同業他社との合併統合にて二度の社名変更を経験したが、会社規模の拡大で社内でも新たに多く



の岐阜高校出身者との出会いを得た。今はタイに建設された新工場に勤務しているが、数少ない日本人の中で、岐阜高校出身の先輩も駐在しており、世界でのマーケットを凌駕するべく、共に世界中を飛び回り、海外の強豪に戦いを挑んでいる。岐阜を離れて長いですが、帰省した際には散歩がてら近所の岐阜高校へ自ずと足を運んでしまう。自分の原点は、この岐阜高校にあったのだと、今、改めて気付く。歴史と伝統ある岐阜高校の卒業生として、また、良き仲間に見えぬ様、今後もより一層、百折不撓・自強不息の精神をもって努めたい。

特集  
6

「新型コロナウイルス感染症拡大防止について」

日時..

令和二年三月二十九日(日)

午前10時~12時

場所..

社団医療法人

蘇西厚生会松波総合病院 理事長室



村上啓雄

**村上** 本日はご多忙の中、S五二年卒岐阜高校校座談会にお集まりいただき、ありがとうございます。私は、本日、司会進行を務めます岐阜大学医学部附属地域医療医学センター長の村上です。本日は、宜しくお願い致します。まず、ご出席の皆さまの簡単な自己紹介、近況を教えてください。最初に松波先生からお願ひします。

**松波** 羽島郡笠松町にあります松波総合病院病院長の松波和寿です。兄は二学年以上の岐阜高校卒で、当病院理事長をしております。

私は当病院四代目になりますが、松波家の先祖は、今年話題の「麒麟がくる」でおなじみの斎藤道三(前名松波庄九郎)がルーツです。当法人は、急性期医療から慢性期医療、介護まで、地域医療を支えています。人生一〇〇年と言いますが、個人的には一二〇歳まで頑張ろうと思っています。宜しくお願いします。

**村上** ありがとうございます。続きまして服部先生、お願いします。

**服部** 私は、岐阜市北一色で三好内科医院を開業している服部です。外来診療以外に在宅診療にも力を入れ、昨年から老人保健施設を始めました。

**村上** ありがとうございます。続いて石樽先生、お願いします。

**石樽** 岐阜市六条でいしぐれ歯科医院を開業している石樽です。開業して約三〇年になります。宜しくお願い致します。

**村上** ありがとうございます。続いて久松さん、お願いします。

**久松** 私は一〇年ほどケアマナージャーをしていましたが、昨年三月から医療法人社団ともいき会で定期巡回随時対応型訪問介護・看護に勤務しています。介護側の出席は私一人

人で心細いですが、宜しくお願いします。

**村上** 最初に、世界的な規模で感染が拡大している新型コロナウイルスについてお話しさせてもらいます。三月二八日現在、世界で約六六万人の感染が確認されており、うち死亡者が三万人を超えました。死亡率は四〜五%になっています。通常の風邪とまったく同じような症状の発熱、咳、全身の倦怠感が少し強いのが特徴ですが、通常の風邪は二〜三日で治るところが一週間程度持続し、ゆっくり治っていく病気です。八〇%の人はそのまま回復していきますが、二〇%の人は一週間後以降に呼吸困難や全身倦怠感が強くなつて、入院を要するような呼吸状態になる方がいます。さらにその中の五%の人は、集中治療室で人工呼吸や、体外循環といって血液浄化療法が必要な状態になります。クルーズ船の乗客で入院した一〇四名のうち、二/三の人が肺炎になっています。また、無症状や軽微な症状の方の中にも半数以上で肺炎になっていました。すなわち、新型コロナウイルスはインフルエンザや普通の風邪と違って、肺炎を起こす特徴のあ

るウイルスで、コロナウイルス肺炎と言ってもいいと思います。通常の風邪ではなく、新型コロナウイルスを正しく恐れて頂きたい。しかも、

確固とした治療法がなく、ワクチンは開発中でまだまだできるとしても先になることを考えると、皆さんには相当の警戒心をもって予防に努めて頂きたいと思います。クルーズ船に関わった数百人の自衛隊員は、通常の感染予防策である手洗いの励行、マスク、場合によってはゴーグルや特殊な防護マスクをしたりした結果、一人も感染した隊員はいませんでした。すなわち、相手（感染者）

がわかっていけば、感染が防げる訳です。我々も、日常生活の中で三つの密である密集、密閉、密着を避けるという他に、無症状でも自分自身がすでに新型コロナウイルスに感染しているかもしれないという思い

で、感染拡大防止のためにもエチケットとして通常からマスク、手洗いを励行してほしい。正しく恐れて、冷静に通常の予防策をとれば感染者も少しずつ減っていくのではないかと期待しています。海外からの帰国者が、ウイルスを持ちこんでいる状況がありますが、感染者を偏見や差別で見るとはならず、一日も早く回復されることを皆さんで祈りながら、自分自身はしっかりと通常の予防策をとれば、感染が拡大するもので

はないと思っています。まさにひとりひとりの対策徹底が求められていると思います。



松波和寿

**松波** 満員電車で何故クラスターが発生しないのですか？

**村上** 通勤時の満員電車は、特に少し詰め状態だとおっしゃべりしませんが、マスクをしていない人もスマホをさわるか新聞や本を読んでジッとしているからです。但し、吊革とか手すりを掴んでいる人は、それなりのリスクがあるかと思えます。また、

学生が乗っているバス等は学生同士が結構大きい声で喋っていたりしますので、これもリスクがあります。

**松波** マスクの効果はどれくらいありますか？

**村上** 室内の空気の約九五%がマスクの脇から自分の口に入りますので予防効果は限定的であることを知るべきです。会話程度ではマスクで防げますが、真正面で咳やくしゃみを見られるとマスクでも完全に感染を防ぐことには限界があるのです。

**松波** 咳をする側がマスクをしてい

れば、十分な予防になりますか？

**村上** ウイルスは裸の粒子で飛んで行かずに、口の中の水分と一緒に飛んで出てくるとして咳やくしゃみ、また会話などで排出されます。この「飛沫」は不織布製でも布製の手作りマスクでも通過できませんので、着用すればほぼ完璧に他人への感染を予防できます。マスクをするのは、至近距離で他人から話しかけられた際にも相手の「飛沫」をマスクが受け止めてくれるので予防になります。すなわち、症状がある人はもちろんのこと、症状がない人でも自らがウイルスを持って

いるかもしれないと思って、エチケットで自らマスクをすることに意義があるのです。

**松波** インフルエンザと両方感染した人はいますか？

**村上** 決して頻度が高いわけではありませんが、実際に同時感染した患者さんの報告がありました。その患者さんは重症化されたようです。しかし予防策はコロナもインフルエンザも同じですから、予防策をしっかりとればダブルでの感染も防げると

思います。ダイヤモンド・プリンセスでは、全員検査して七一二人が陽性で、死亡者が一〇人ですから、日本での死亡率は一・五〜二%です。イタリアでは、六〇歳以上の人は治療してもらえないと聞きました。病

床が満杯で医療崩壊の状態です。一般にPCR検査は、七割程度の精度です。すなわち三割の人は本当はウイルスを持っていても陰性と判定されてしまう（偽陰性）ことになり

ます。陽性だから隔離、陰性の人は帰宅させると、陰性から後に陽性化してくる人が出る可能性が高いので、帰宅させるのは大反対です。症状のない人でも陽性の人がいますが、咳やくしゃみをしないうえから症状のある人と比べて感染性は高くはありませんが、近くで会話したり、電車内などの密閉空間で密接・密着して会話したりすると危ないです。特に

にコーラスに参加されたのは盲点でしたね。ジムとかコーラスに参加した後、何人かで長時間お茶しながら話すことが日常見られますよね。これがクラスターの原因のひとつではないかと思えます。プールで泳いだだけでは感染のリスクはさほど高くないと思えます。また飛沫感染以外にも脱衣所でのドライヤーやロッカーのドアノブ等、不特定多数の方が素手で触れる環境表面はウイルスが附着しているかも知れず間接的な接触感染のリスクがあり危険です。触ったら手を顔に持っていないことと、できる限り早く手洗いをすることが必要です。

**松波** MERS、SARSと違って新型コロナウイルスは、何故今回の



ように感染拡大したのですか？

**村上** 新型コロナウイルスは七種類あって、四種類は普通の風邪で終わってしまします。残り三種類のうち、二〇〇三年のSARSは一〇%の致死率、二〇一二年のMERSは三四%の致死率。韓国では数年前にMERSが多数発生したのでPCR検査の体制を整えました。SARSは香港から流行しましたが、今回のように不適切に情報統制をすることはありませんでした。MERSの流行は中東からでした。しかもラクダからうつったものでした。

**松波** 今回は、コウモリからと言われているのですか？

**村上** コウモリかへびか、まだわかっていません。

**松波** バイオテロといううわさもありませんか？

**村上** そういう証拠はないとは思いますが。一般に新型コロナウイルスをばらまくと、自分も免疫があるわけではなく、企てたものが自らに感染するリスクがあるから、バイオテロに使用されることはないと思えます。

**松波** 千葉県の介護施設でクラスターが発生しましたね。

**村上** 高齢者ですので多くの犠牲者が出る可能性を心配しています。感染者を感染病棟に隔離できないほど東京は飽和状態になっているように

です。岐阜県では五つの感染症指定医療機関がありますが、すでに満床の指定医療機関もあります。

**服部** 藤田医科大学岡崎医療センターが開院前に、感染者を受け入れましたね。

**村上** すばらしいことですね。経過観察の中で、酸素飽和度、すなわち肺の呼吸機能が低下してきた感染者は他の集中治療を行える施設に転送する連携体制も整備されていたようです。医療機関病床の不足からオンラインピックの選手村を使用しようかという意見があるようですが、宿泊療養はひとつのアイデアですね。岐阜でも大多数の患者さんが発生すれば、既存の医療施設のベッドだけでは足りず、他国が整備している体育館をパーティションで仕切ったような簡易治療施設が必要になるかもしれない。

**服部** 海外で医療従事者が感染しているのは、しっかり防御できていないからですか？

**村上** マスクを着用していても鼻がふれたり、手に付着しているかもしれないウイルスを鼻粘膜にもたらし感染が成立する場合があったのではないかと思います。

**石樽** 加湿器に次亜塩素酸を入れて使うのは、予防効果がありますか？

**村上** コロナウイルスは密閉空間以外では空気中にウイルスが浮遊していかないから、加湿器に消毒薬を入れても感染予防策としての意味はないです。ただし脱臭効果などはありますので、空間がさわやかになる効果はあると思います。



石樽一博

**服部** 嗅覚、味覚異常は新型コロナウイルスの独特の症状ですか？

**村上** 欧米では、症状のない人のうち六割位の人に嗅覚、味覚異常が発生していると報告されています。ただ、普通の風邪でも鼻が詰まれば匂いはしなくなり、舌も荒れるので味覚も十分感じにくくなります。なので、新型コロナウイルスの特異的な症状であるかはまだ十分わかっていません。実際に味覚・嗅覚障害が唯一の症状である感染者もいますので、コロナウイルス感染症としての症状の有無の判断には必要な項目ではあります。ただし、一日だけ嗅覚、味覚異常になったからPCR検査をしてほしいといわれると、この時期は花粉症も多いので、パニックになっ

てしまっているので慎重に判断して頂きたいです。PCR検査は、何故もつとやれないのかと言うと、基本的にはすぐく技術が要る検査で、通常の血液検査や尿の検査のように器械に注入すれば全自動で結果が判明するような簡単なものではありません。

そのことを理解して頂きたいです。岐阜県では一日二〇件が限度です。二時間で結果が出るより簡単な方法も検討されており、そういうものが普及してくればもっと検査できるようなりうると思います。できれば軽い症状の方は、自宅療養してほしいです。四日以上症状が続く、しかも息が苦しくなれば肺炎症状なのでPCR検査を受けてほしいです。ノロウイルスはほぼ二日間症状がなくなり、その後大事をとって二日間自宅安静していただければ、職場や学校に復帰可能となります。

新型コロナウイルスの症状が出なくなり、数日すればおそらく他人への感染性が極めて低くなることは予想されていて、そのタイミングでは復帰しても大丈夫だと思えますが、まだデータがないので現在のようPCR検査を二日連続で陰性を確認するなど慎重を期しています。

**松波** 日本医師会では、肺炎の症状が出ないとPCR検査をしない指針に感じられますが。

**村上** 今はマスク、ガウン、フェイ

スシールドなどの個人防護具が入手しにくいので、PCR検査の検体採取の際に採取者の感染性のリスクを考えると、検査を無制限にできない状態だと思います。

**松波** あまく見てもいけないし、必要以上でもいけない。

**村上** 正しく恐れて、冷静に予防策をとってほしいです。

**松波** 東京の某大病院で院内感染が発生しましたが、どの病院でも発生しうるのでですか？

**村上** やはり、医師や看護師が適切な予防をすることが大切です。病院勤務者は、自分の手が清潔であるという過信をしてはいけません。過信しすぎた結果が、某大病院の院内感染ではないのでしょうか。



服部和樹

**服部** 咽頭所見や歯医者等は濃厚接触になるのでしょうか？

**村上** 声を出さないと口だけ開けるのであれば、大丈夫だと思います。ただし診察中に、患者さんによってはくしゃみや咳、吐き気をもよおすこともあり、その際は「飛沫」を発

生させますので、マスク、そしてできればフェイスシールドが必要だと思います。

**石樽** 新型コロナウイルスの治療薬が発売されると聞きましたが、そうですか？

**村上** 新型インフルエンザの治療薬アビガンは既にありますし、理論的には効く可能性はあります。タミフル、リレンザ、イナビルはノイラムニダーゼ阻害薬なので効きません。アビガンは細胞の中のRNAをさわるので効果があったようですが、現在は治験に参加しないと使用できません。

**松波** いつ、終息するのでしょうか？

**村上** 潜伏期が大変長いのが特徴で、平均でも五日以上、長いと二週間程度で、しかも無症状の人も多くいるのが新型コロナウイルスのしたたかさです。インフルエンザは一〜三日の潜伏期間で、炎症を起こして一週間で死んでいきます。ところが新型コロナウイルスは潜伏期間が長く、その二倍の期間である最低一カ月を観察しないといけない。その間、一カ月ロックダウンし、自宅で自給自足生活することができれば、多分世界中で終息するでしょう。ただ、今後ロックダウンをやつていいのか、やらなければいけないかという判断をする時期がくるかもしれませ

ん。  
**石樽** 三月の三連休が終わり、二週間後が心配です。

**村上** 一方で学校は、授業を再開しあげないと子供たちがかわいそうですし、保護者の方々も行き場を失ってしまいます。学校は集団と言つても担任の先生が監視できますので、再開しても良いのではないかと昨日、県の会議でコメントをさせて頂きました。

**久松** 子供たちは先生の指示をまじめに聞きますからね。

**松波** 人が集まる会合がいつから出来るようになるのでしょうか？

**村上** ロックダウンすれば別だけど、この状態で五月の連休明けに感染が収まるとは想定できません。天然痘、麻疹、ポリオは人から人にしか感染しないから日本では撲滅しました。新型インフルエンザは馬にも感染します。人獣共通感染症だとウイルスが動物側に逃げ込むので、新型インフルエンザも季節性にはなつていきますが撲滅はできないのです。

**石樽** 乾燥した場所で咳をする場合の飛散距離が加湿するとある程度抑えられるので加湿した方が良いでしょう。

**村上** その通りだと思いますが、加湿する水の管理が重要です。できれば加湿・加湿器が望ましいですね。

やけどには注意が必要ですが、とこで高齢者施設で感染拡大したら大変なことになりますね。感染者は高齢者ですから重症化しやすく、予後も悪いですから。またより在宅・訪問介護に負担が増えてしまいますね。



久松明美

**久松** 職員が感染すると、訪問するヘルパーがいなくなるので困ります。

**村上** ウイルスが付着したと思つたら、アルコールや水での手洗いをすることが大切です。耳鼻科、眼科、歯科医師が一番危険です。中国で亡くなったのは眼科医でした。患者との距離が近いのが原因です。

**松波** 産婦人科医も危険だね。

**村上** 正しく恐れて、冷静に通常の予防策をとることが終息に向かう一番の対策です。

# 「医療と介護の連携について」

**村上** このような状況の中、私たちも還暦を迎え、十数年後には後期高齢者の仲間入りとなります。同級生の中には既に両親の介護を経験された方も数多くおみえになると思いますが、今後も続く高齢化社会に対して皆さんはどのようにお考えですか？

**松波** 体も精神もある程度のレベルを保って生きていかないと意味がないと思います。個人的な意見ですが、人は口から食べられなくなったら死ぬ運命にあると思っています。死ぬ直前三カ月間に一生で使う治療費の一／三を使っています。死ぬために医療費を使っているのが現状です。これは今後考えていかないといけない医療費問題です。私は不妊症が専門ですが、現在、全国で約八七万人の子供が生まれています。但し、これは毎年5%位ずつ減少しており、人口の減少予想より早い減少率です。この状況で、今の経済を維持するのは不可能だと思います。仕事をするために生きるのではなく生きるために仕事をするという生き方を変えていく世界にならざるを得ないと漠然と思っています。そうは言いながらも医療と介護は必要であり、今後は在宅が重要で増加してくるかもしれません。急性期、回復期から在宅期へ

の橋渡しをするのが、地域支援病院の大事な役割だと思います。地域包括支援システムの中で、私の所は岐阜県の南側を中心としてやっています。人が生活するのに大事なことは、住む所や医療施設です。医療と介護を中心とした街作りが大事です。医療保険と介護保険は別々にあり、今は法整備も必要ではないかと思えます。

**村上** 私は感染対策を行う時に、診療動線はすべての患者さんが同じでなければ混乱を招くことから、高齢者施設を含めた感染対策協議会を作って勉強会を二〇年間やっています。

**服部** 団塊の世代が間もなく七五歳になり高齢者が多くなりますが、私が勤務医の時代は全く介護について無知で、今、開業して在宅を始め、老人保健施設を開業すると、患者さんの生活を知らないで治療も介護もやっていけないということで、医者が介護のことを知らないで連携が取れません。病院と開業医、開業医と患者、ケアマネージャー、看護師と共通の情報網をもつてないと、とて在宅でやっていけません。今は、SNSで情報共有ができています。もちろん個人情報なのでパスワード等でプロテクトされています。患者

の情報を共有し、食べる時どのような体位で食べさせないと誤嚥するとか、情報のやり取りをやっています。かつては、患者さん宅に行くノートがあつて、日記のように記載してありましたが、その場で読むだけで忘れてしまいがちでした。

**久松** そのアプリ、SNSには介護の方も参加していますか？

**服部** ケアマネージャーが参加しています。

**村上** それはいいですね。ネパールはカルテがなく、各家庭にノートがあり、医者も看護師もケアマネージャーもフリーハンドで記載しています。ただ、ノートでは持つて帰って考え直すようなことはできません。ドイツはテレメディスンが発達していますが、日本ではそのあたりが遅れています。理想では、マイナンバーを活用して、クラウドからすべての情報が確認できるようにする等、ITを使った情報共有は今後の課題だと思います。

**松波** 今の電子カルテを見ていると、いつまでたつても情報共有はできないような気がします。

**服部** 開業医と大病院では、請求NETといって開業医が大病院の電子カルテの中のごく一部にアクセスできます。但し、アクセスに多くの制限があります。

**村上** 日本では、個人情報保護が独

り歩きして、何でもかんでも保護されて、やりすぎだと感じる時があります。国民の健康を守るという視点がないがしろにされているように思えてなりません。

**服部** だから、知りたい情報がわからないことが多いのです。私が医療と介護の連携で気をつけていることは、SNSを使った情報共有と、最初に患者さんを診たときに介護も含めたあらゆる情報を集め、自分でサマリを作つてプログラムリストにし、看護師、ケアマネージャー等と共有しています。

**久松** 同様なソフトが沢山ありますね。私の勤務先では別のソフトを使っています。

**服部** 医者と患者の家族とはなかなか接点がないので、家族が患者の状態を知ってもらうためにも、家族とも連携できると安心です。良いツールがあればどんどん使いたいです。

**村上** 担当医の書いたコメントも見てもらうといいですよ。昔と違って、隠すことはないですから。今は癌でも告知しますから、家族の誤解も生みにくいです。

**服部** 先日、癌で亡くなった患者さんの家族は、患者の状態や患者の気持ちに登録してくれたので、担当医としても大変ありがたかったです。

**久松** 私の父も入院していたのですが、本人が家に帰りたと言つてい

ましたが担当医からは退院は無理と言われていましたが無理を言って自宅に帰ると、表情が全く違って顔色も良くなり、新聞を読むくらい元気になりました。

**松波** 自宅に帰すという選択をしなればいけない時もありますね。

**服部** 家族は患者が在宅だと、全部家族で面倒見なければいけないと思っているけど、実際は、看護師もケアマネージャーもヘルパーも来て援助してくれるので、基本的には自宅で死にたいと思う方が多いと思います。

**久松** 私の父のように自宅に帰って元気になる方もいますから。

**村上** 私が医学生の際にある教授から、人間はオギャーと生まれた瞬間に死亡宣告されるのですと教えられました。いかに最後のところも自分らしく、その人らしく最後を迎えるかってことを追求しなさいと教えられました。

**久松** 皆さん、死ぬ時のことを考えなさすぎだと思えます。今、現場に行くと、死ぬる薬をくれとか言う患者さんが多く、死ぬのは怖くないけど死に至るまでの期間が不安で、コロッと死にたい人が多いです。

**松波** スウェーデンでは、医療、福祉が充実していますが、日本のように点滴して人工呼吸器をつけて生きている人がいないのですが、何故かわかりますか？そのような意味のな

い治療はやらないというコンセンサスがあるそうです。

**村上** スウェーデンでは、全員がDNAR(※)で、患者が急変しても心臓マッサージや人工呼吸などの蘇生術を行わないことを意味します。(※・癌の末期などで心停止ないし呼吸停止した際に心肺蘇生を行わないという特別な指示がある場合、心肺蘇生を省略することができ。この指示をDNAR (Do Not Attempt Resuscitation)と呼ぶ。)

**松波** 日本でも増えています。昔は生かしてほしいという家族が多かったです。

**村上** 患者本人の意思が確認できていなければ、担当医としてはまずは延命措置をすることが医者の仕事なのです。

**石樽** 健康に生きる、クオリティの高い歳を経ていくとなると、八〇歳で歯が二〇本以上あると、口から栄養をきちっと取るということが全身の管理にもつながっていくのと、噛むということが脳への刺激とか、運動能力と知覚能力、認知症対策として脳への刺激が大切になってくるので、歯科が参入していくと介護の質が上がっていくと思います。

**松波** 歯科で訪問治療はできますか？

**石樽** やっている方もいます。

**久松** 一年ほど歯磨きしていません

た高齢者が、口腔ケアをするようになったら表情が豊かになりました。口の中をきれいにすることは大事だと感じました。

**石樽** 歯科医で口腔ケアに特化する方もいます。一番大事なのは口からばい菌が入ってくるから、ばい菌の数を減らすには口腔ケアが必要になってきます。

**服部** 老人保健施設で歯科衛生士を雇用し、定期的に訪問歯科に診てもらったら、肺炎が極端に減りました。こんなに違うものかとビックリしています。

**石樽** 総入れ歯でもいいから奥歯で噛むことで脳への刺激もあります。やはり二〇本以上の自分の歯で噛むことが大切だし、味覚も違ってくると思います。

**村上** おいしく楽しく食べるということでは、石樽先生は口腔ケアで努力してみえますが、これを食べると体にいいとか、これは食べてはいけないとか、と言う指導をされる方もいらつしやいますが、減塩のみ行ってもわずかしら血圧は下がりますが、だからおいしく楽しく、適量を食べることが大事だと思います。

**久松** 高齢者は味が濃いと量を多く食べてしまいます。

**村上** 血圧が高い人に味を薄くすると量が食べられなくなり、体力がなくなる人もいます。皆さんはそれぞれ

苦勞して頑張っているから、日本の課題は、医療と介護の各パートでの専門性を持った方で情報をもっと共有することです。特にITを使っている情報共有があると、より一層質の高いことができるのではないのでしょうか。その結果として、更にお互いの信頼も得られ、その人らしい最後を迎えるに当たっての質の向上につながる、おいしく楽しく食べることも一つの大きな柱だと思います。今後これらの課題に向けて、同窓生、同級生の仲間、それぞれ第一線で頑張っておられる方がこのように情報を共有し、また、課題を共有することによってもっと最新の技術を用いたシステムを展開できればいいなと思います。本日は、ご多忙の中、お集まりいただきまして誠にありがとうございました。



特集  
7

# 岐阜高校アーカイブ

昨年度に続き資料室にある思い出の品をアーカイブ



〈PTAだより  
(創立110周年記念特集号)



△昭和58年10月11日 創立110周年記念式 パンフレット



△平成5年11月4日 創立120周年記念式 パンフレット



△創立120周年記念誌



△平成5年11月4日 創立120周年記念式 アルバム



△平成15年11月8日 創立130周年記念式典 パンフレット

▽創立130周年記念誌



△平成15年11月16日 創立130周年記念事業親善野球大会ポスター・サイン入りバッド△▽



△創立140周年岐高新聞





△岐中・岐高女で使用した教科書類



△書籍（「思い出の高等女学校」）



△卒業記念品（岐高女）



△校歌・応援歌（岐中・岐高女・岐高）





△第50回選抜高等学校野球大会出場の写真



△1回戦吉備高校戦のアルプススタンド

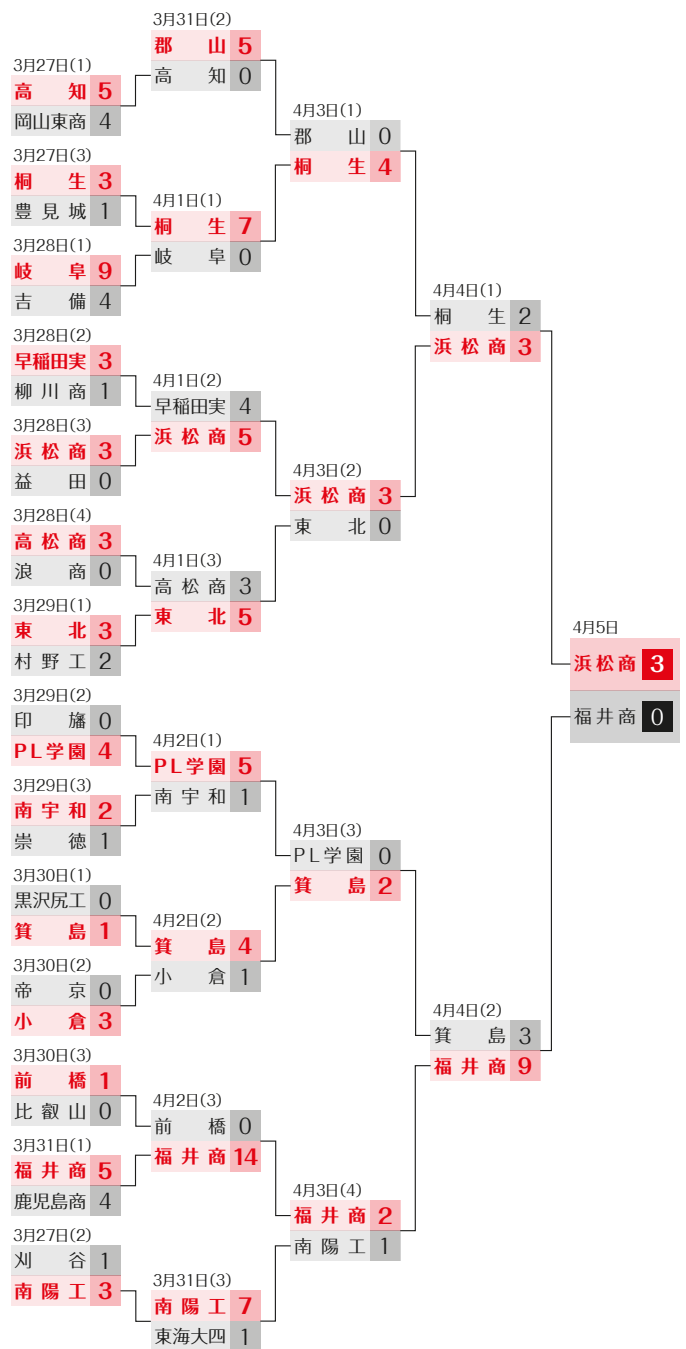


△第50回選抜高等学校野球大会出場のペナント

### 第50回選抜高等学校野球大会

試合日程 1978年(昭和53年)3月27日～4月5日  
 出場校 30校  
 優勝校 浜松商(静岡、初優勝)  
 試合数 29試合  
 入場行進曲 『愛のメモリー』(松崎しげる)  
 選手宣誓 百合幸二郎(郡山)  
 始球式 砂田重民(文部大臣)  
 総入場者数 約587,000人(1試合平均20,241人)  
 最高入場者数/1日 67,000人  
 大会本塁打 10本塁打

1回戦      2回戦      準々決勝      準決勝      決勝





△第50回選抜高等学校野球大会  
出場のサインボール



△卒業記念品（岐高）



△選抜出場に繋がる岐阜県秋季大会  
優勝盾



△昭和60年第21回全国高等学校将棋選手権  
大会優勝盾（男子団体）



△昭和37年第34回選抜高校野球大会  
出場記念 飾り皿



△昭和11年全国中等学校庭球大会  
優勝カップ（永田・鷺見組）



△岐阜中学校 校舎



△平成16年第24回全国高等学校  
クイズ選手権 優勝盾



△平成9年第2回全国高校生  
ディベート大会 優勝トロフィー



△岐阜中学校 校歌



△林間学舎 全景

# 高 岐高だより

第138号

令和2年3月1日  
岐阜県立岐阜高等学校  
PTA会長 國井 重宏  
印刷/ヨツハシ  
題字/筑紫 敏博

## CONTENTS

- 心身ともに健康に
- 理不尽を受け入れよ!
- 親として3年間を振り返ると
- 卒業に寄せて
- 令和2年度コース選択・科目選択の結果
- 未来を創造するのは君たちだ!
- 入試センター試験自己採点結果
- 大学入試センター試験
- 2020年度大学入試出願状況(現役生のみ)
- センター試験を振り返って
- 高校生活、そして未来へ
- 3年間の思い出
- 3年間皆勤賞・同窓会幹事
- 第9回「科学の甲子園」全国大会
- グローバルリーダー養成事業から珠玉の言葉
- 第2回学校評議委員会報告
- 部活動だより

学 校 長	..... p1
PTA 会 長	..... p2
3年学年委員長	..... p2
3年学年副委員長	..... p2
教 務 部	..... p2
進路指導部	..... p3
進路指導部	..... p3
進路指導部	..... p3
進路指導部	..... p4
進路指導部	..... p5
3年学年主任	..... p6
3年学年会	..... p6
3年学年会	..... p6
理 科	..... p7
進路指導部	..... p7
教 頭	..... p7
特別活動部	..... p8



▲センター試験激励▶  
(水拓雄)



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。いよいよ新たな世界へと歩み出す時となりました。皆さんはきっとこの日を待ち望んでいたことと思います。自ら選んだ世界を心ゆくまで探究してください。

さて、人口減少、超高齢社会の到来、グローバル化、情報化の急速な進展や人々の価値観の多様化により、社会では様々な課題が山積しています。そのような中、先日、本校は公益財団法人日本学校保健会が主催する「全国健康づくり推進学校表彰事業」において、高校の部の最優秀賞を受賞しました。特に、保健や現代社会の授業などでの「がん教育」、保健委員会による換気指導活動といった環境衛生活動、「命の尊さ講話」や「食育講座」といった「グローバルリーダー養成事業」などにおける生徒の主体的な取り組みが評価されたものです。

その閉会式において審査員の方が「日本において平均寿命は延びましたが、健康寿命が短い」と話されたことが私の耳に残りました。健康寿命とは「心身ともに自立し、健康に生活できる期間」のことを指します。2000年にWHOが提唱して以来、「寿命を延ばす」という従来の指標に加え、「健康でいられる期間を延ばす」という健康寿命の指標が重視されるようになってきています。厚生労働省によると、2018年の



学 校 長  
折 戸 敏 仁

### 心身ともに健康に



日本人の平均寿命は女性が87、3歳、男性が81、3歳、これに対して健康寿命は2016年時点で女性74、8歳、男性は72、1歳であり、平均寿命とかなりの隔りがあります。まだ若い皆さんには平均寿命、健康寿命と言われても実感はわかないかもしれませんが、「人生100年時代」と言われている昨今、健康寿命を延ばすためには若い時期から健康的に生活をする意識とそれによる行動が大切です。そうした点において本校の取組の持つ意義は大きいと感じています。

これから皆さんが踏み出す新たな世界では高校時代とは違い、環境は大きく変化することでしょう。その中で健康の維持管理を自ら行っていくこととなります。学問探究は大切なことですが、それも健康な心身があつてのことです。本校での学びをきっかけとして、それを今後に生かし、自らの人生を豊かなものとしてほしいと思っております。

校訓「百折不撓」「自強不息」を胸に、常に夢の実現に挑戦してください。心身ともに健康を意識して過ごされ、新しい世界で活躍されることを心から祈念しています。

# 高校生活、そして未来へ

3年学年主任 籠橋 美和子

卒業の前に、3年生の皆さんに俳句・川柳を募集しました。受験勉強で大変な最中でしたが、数十名の生徒が自分の思いを五七五にぶつけてくれました。その一部を紹介しつつ、高校生活を振り返りたいと思います。

● 連中は持ち込み禁止友学館 O S  
勉強道具持ち込み禁止と担任に言われた林間学舎。三年間で最高の思い出だった、という人もいました。

● 長崎の光の街で六時間 H K  
2年のメインは何と言っても修学旅行。ハウステンポス楽しかったね。

● 暑い日も歌い踊った岐高祭 O K  
● 魅せられたやり抜く力文化祭 3の9  
● 新時代共に進化す岐高祭 K B

● 3年の集大成は何と言っても岐高祭。みんなで涙した日々は忘れられません。  
● 応援團観にかかれてこそ、こそと T  
● 親に内緒で応援團に入ったため、深夜にマシンや洗濯をやっていたそうです。

● 次は高校生活の日常から。  
● すぐいけや かわず飛び込む自由書房 びえん

● 教材販売でお金を忘れ「早くドンキ近くの自由書房に行け」と叱られたそう、秀逸な川柳ですね。三年間、自由書房にも本当にお世話になりました。

● 懐かしきチヨウクの音は平成に ぼきた  
● 黒板のホワイトボード化は今年度のビッグニュースですね。懐かしい。

● 雨漏りで疑う事実築十年 ティッシュユ  
● 素敵な校舎でしたな。

● だれ一人欠けることなく三年間 蹴球女部活動も皆よく頑張りましたね。  
● 書いたのがセンター試験直後だったため、沢山の叫びが寄せられました。

● ときわすれ空欄三つあらず不思議 1提督  
● 時と解きですね。生物基礎の最後の三問に気付かずそのまま化学基礎に行ってしまった人が数名。慢心ダメ、ゼツタイ。数学は特にシヨックを受けた人々が。

● 足し算を掛け算にして失う10点 餃子  
● 単位円πと2πで失う大問 文系  
● 後輩にはこんな失敗をしないよう「解き始めは死ぬほどゆっくり解け！自然と自分のトップスピードに乗るから！」と伝えて、と依頼されました。

● 嫌われたその分愛した数学を 文系女  
● 文系女の私が泣ける句をありがとう。

● 何かしら何もしなけりや点はない アモン  
● 悔しさは今バネになる挫けるな にしん  
● その通り！

● 最後に、未来に向けて。  
● これからもぎふと共に生きていく 取  
● 故郷を忘れず、高校生活で出会った仲間  
● C&Gと共に生きていこう！

● 次はいつ別れはこない花木五倍子 Mami  
● 花言葉は「出会い」と「待ち合わせ」。友人達、そして部活の仲間五人とも、つながり続ける願いを込めて。

● 三年間みんなで作ったワンチーム 開発  
● 業では全て揃けぬ青き日々 F M  
● さんと感動の日々を共に過ごせたこと、本当に感謝しています。 Good Luck!

## 3年間の思い出



3年同窓者 (合計64名)	1組	今村 剛大	金武 菜葉	○桑原望来	丹下 結華	中村 優介
		野口 智弘	三輪もも香			
	2組	上田 萌恵	大野 琴未	菊谷 健人	川合 央記	東原 漢
		水野 良謙	矢島 璃己			
		○赤塚侑穂	池田 淑乃	○伊藤優児	○福川夢静	樺田 衣里
	3組	奥田 裕登	可知穂葉美	熊澤 真名	杉山 颯	野上 成美
		平松 建伸	松尾 直樹	宮澤 榮功	山田 真大	
	4組	淺野 航太	豊深 友香	○大島海奈	近藤 貴太	杉江 善紀
		山本 夢生	吉口 直輝	渡邊 空		
5組	奥村 紗那	金成 由清	加納 仁志	佐橋 慶一	杉原 大暉	
6組	○高橋聖奈	滝本 優南	田中 日菜	福岡祐一郎	山岸 支暉	
	横山 光海	米田 拓真				
7組	大井 貴弘	亀田 拓馬	杉山斗優子	早川 恵理	吉田 圭吾	
	渡辺 和					
8組	○足立彩葉	○大前亜聖彩	○日置南智	益田 莉彩	山崎久美子	
	○山下倫未					
9組	上田 航大	小嶋 望菜	竹本 百花	福田 有望		

(○は12年同窓者)

同窓会幹事	1組	桑原 望来・田中 利奈	6組	奥村 祥之・政井菜々美
	2組	新居 漢大・土生 愛梨	7組	○辻 諒汰・三品 美咲
	3組	宇野 健斗・川村 真白	8組	國井 雄平・河合 望佳
	4組	神戸 公貴・佐藤 由依	9組	井原 諒太・高橋 彩華
	5組	磯部 元政・○馬場かれん		

○：幹事長 ○：副幹事長

# 高 岐 高 だ よ り

第137号

令和元年12月17日  
 岐阜県立岐阜高等学校  
 PTA会長 國井 重宏  
 印刷/ヨツハシ英  
 題字/筑間 敏博

## CONTENTS

- 冬休みを有意義に過ごそう！
  - ジョイントセミナーat東大を終えて
  - 新年度のコース選択・科目選択に向けて
  - 充実した高校生活を送るために
  - 令和元年度 PSセミナー
  - 「変わりゆく社会と変わらないもの」
  - 2年次PTフォーラム
  - 第69回全国高等学校PTA連合大会
  - シンガポールで研究発表
  - 仲間と一丸の岐高祭
  - 岐高祭 最高の思い出
  - 体育大会で得たもの
  - 後期生徒会発足
  - 書道部全国大会W出場
  - グローバルリーダー養成事業から珠玉の言葉
  - Shirin先生(ALT)あいさつ
  - 部活動の主な成績・活動状況
  - 修学旅行
  - 芸術鑑賞会
  - 行事予定(1~3月)
- 進路指導部 ..... p1
  - 進路指導部 ..... p2
  - 教務部 ..... p2
  - 生徒指導部 ..... p3
  - 渉外部 ..... p3
  - 1年次委員長 ..... p4
  - 2年次委員長 ..... p4
  - PTA副会長 ..... p4
  - 自然科学部生協 ..... p4
  - 前期生徒会長 ..... p5
  - 前期文化委員長 ..... p5
  - 前期体育委員長 ..... p5
  - 後期生徒会長 ..... p5
  - 特別活動部 ..... p5
  - 進路指導部 ..... p6
  - 英語科 ..... p6
  - 特別活動部 ..... p7
  - 2年次 ..... p8
  - 特別活動部 ..... p8
  - 教務部 ..... p8



▲体育大会



▲文化祭



▲文化祭オープニング

健康を心から祈っています。



平成から令和に変わり、新たな時代を迎えて、今年もあと1か月となりました。冬休みは短期間ではありますが、少し考える時間をもって、「今年の反省」「来年への期待」を念頭に置き、新年を迎えて欲しいと思います。

1年次生は、林間学舎活動や岐高祭、様々なテストを経験して、すっかり岐高生活にも慣れたことと思います。今年を振り返り、さまざまな面でさらなる向上を目指して、自分の進路についてじっくり考えてください。

2年次生は、十月の年次集会でこの時期からの半年が重要な時期だということを理解してくれたことと思います。一月からは、いわゆる「3年0(ゼロ)学期」と呼ばれる時期です。しっかりとした生活をして、良い四月を迎えられるように準備してください。また、大学入学共通テストに変わり、何かと不安な所はあるかもしれませんが、変化のある時こそチャンスです。本校での学習をしっかりとし、自分の志望を貫き通す気持ちで最後までがんばってください。

3年次生は、年が明けるといよいよ受験本番です。センター試験を皮切りに、私立大、国公立大の前期・後期と矢張り早に行われていきます。体力とともに精神力も要求されます。今までやってきたことを信じて、強気で試験に臨んでください。「苦しみは山頂の一步手前」。最後まで諦めてはいけません。みなさんの健闘を心から祈っています。

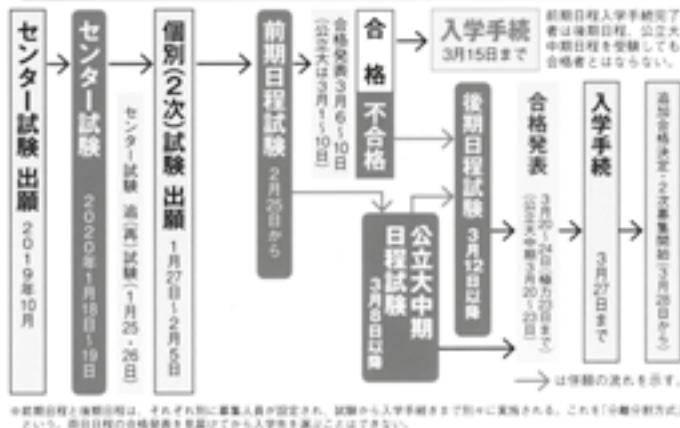
冬休みを有意義に過ごそう！

進路指導部

### 2020年 センター試験 時間割

科目	教科・出題教科	解答時間・配点・時間割
第1日 2020年 1月18日 (土)	歴史	世界史A【世界史B】【日本史A】【日本史B】【地理A】【地理B】
	公民	現代社会【倫理】【政治・経済】【倫理・政治・経済】
	国語	【国語】
	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】
第2日 2020年 1月19日 (日)	理科①	【物理基礎】【化学基礎】【生物基礎】【地学基礎】
	数学①	【数学Ⅰ】【数学Ⅱ-数学A】
	数学②	【数学Ⅲ】【数学Ⅲ-数学B】【簿記・会計】【情報関係基礎】
	理科②	【物理】【化学】【生物】【地学】

### 2020年 国公立大入試日程



部活動の主な成績・活動状況

体育系

Table with sports categories (硬式野球, 陸上競技, サッカー, etc.) and their respective achievements and results.

文化系

Table with cultural activities (美術, 書道, 演劇, etc.) and their respective achievements and results.

同

Table with general activities (図書, 放送, etc.) and their respective achievements and results.

# 高 岐 高 だ よ り

第136号

令和元年7月17日  
 岐阜県立岐阜高等学校  
 PTA会長 國井 重宏  
 印刷/ヨツハシ様  
 題字/筑間 敏博

## CONTENTS



▲テニス部女子 東海総体 浜松市にて



▲国高校囲碁選手権



▲陸上競技部 インターハイへ出場

- 「夏こそ絶好の機会」
- 第1回学校評議員会報告会
- 充実した夏休みを過ごすために
- 教育相談室より
- 平成31年度PTA総会
- 東海地区高等学校PTA連合会岐阜大会に参加して
- 3年PTフォーラム報告
- 「創立146年vs111年」
- 頂いたご縁に感謝して
- 「挑戦の先にあるもの」
- 球技大会を振り返って
- 前期生徒会発足
- 模擬国連NY大会報告
- Emily先生(ALT)お別れのあいさつ
- 囲碁将棋部全国大会へ
- テニス部女子報告・部活動だより
- 林間学舎活動について
- お知らせ・行事予定

- 進路指導部…………… p1
- 教 頭…………… p2
- 生徒指導部…………… p3
- 生徒指導部…………… p3
- PTA副会長…………… p4
- PTA会長…………… p4
- 3年学年委員長…………… p4
- 1年次委員長…………… p5
- 1年次副委員長…………… p5
- 1年次副委員…………… p5
- 体育委員長…………… p5
- 生徒会長…………… p5
- 進路指導部…………… p6
- A L T…………… p6
- 特別活動部…………… p6
- 特別活動部…………… p7
- 1年学年会…………… p8
- 教 務 部…………… p8



学年・年次が変わって新たな気持ちでスタートしてから早くも三か月が経ち、夏休みを迎えようとしています。この三か月で、みなさんは充実した高校生活を送れたでしょうか。単位制が導入されて始まった日課では、60分で6時間の日もあり、忙しい日が続きました。しっかりと復習したいけど十分に取り組めなかったり、発展的な学習に取り組みたいと思っても、翌日の予習や小テストの勉強のためにできなかったり、いろいろな反省点があったのではないかと思います。

夏休みは、まとまった時間を自分の考えで使える貴重な4週間です。この三か月間での反省をもとに、不完全な内容の復習を行ったり、興味のある発展的な内容に積極的に取り組んだり、じっくり深く考えたり、完璧に覚えたり、理解できるまでとことん追求したり、この三か月間でできなかったこと、やり残したことを取り戻すには絶好の機会です。この時間が無駄にならないよう、学習や部活動を追及していく、探究していく日々を過ごして、学習面や体力面で大きく成長できる夏にしてください。学校が再開する8月末には、みなさんがさらに成長して新たな良いスタートを迎えることができることを期待しています。

## 「夏こそ絶好の機会」

### 進路指導部

1年次生のみなさんへ

岐阜高校へ入学して初めての夏休みを迎えますが、この三か月で中学生から岐阜高生になれましたか。夏休みという言葉に気が緩むようでは、まだ岐阜高生になれていません。ただ何となく授業がない解放感だけで、時間を無為に過ごせば虚しさだけが残ります。自分で工夫して活用できる時間が十分にあるので、自分のやるべきこと、やりたいことをしっかりと自覚して、朝から晩までとことん取り組んでください。入学以来の三か月間を膨らませる人もいるだろうし、取りこぼしたことを補う人もいるでしょう。いずれにしても自分にできる精一杯のことに実践して大きく飛躍する夏休みにしてください。また、オープンキャンパスなどで実際に大学へ行くことは、将来のことをよく考える機会となるので、この夏休みに積極的に参加してみてください。

2年次生のみなさんへ

3年生の先輩が部活動や学校行事から引退し、2年次生のみなさんが学校の中心となって活動することが多くなり、ますます主体的に行動することが求められます。自分で目標を設定し、その目標を達成するための計画をし、実践していかなければなりません。この夏休みにも部活動や生徒会活動、岐阜祭の準備、学習に主体的に、積極的に取り組んでほしいと思います。学習面においては、この夏休みが高校生活のまさに折り返し地点です。入試を視野に入れ、磨きをかけなければいけない教科の発展的な学習や、苦手意識のある教科の補強をするのに、この夏休みにまとまった時間が取

林間学舎活動について

1年次会

今年も7月25日より本校の伝統行事である林間学舎活動が、奥飛騨温泉郷の「友学館」で行われます...



Table with 5 columns (1st to 5th) and 6 rows (Period, Class, Teacher, Student Count, Service).

お知らせ

岐阜県ふるさと教育週間にもない、本校では下記のように授業、総合的な探究の時間(PSセミナーを含む)、LHR等を公開いたします...

日程

- ◆10月25日(金) 第4限(12:45~13:45) 公開授業・1年次：PSセミナー
◆10月30日(水) 芸術鑑賞会(13:20~ 於:岐阜市民会館大ホール)
◆10月31日(木) 第5限(13:15~14:05) 公開授業
◆11月1日(金) 第4限(12:45~13:45) 公開授業
第5限(13:55~14:55) 公開授業

PS セミナー

「総合的な探究の時間」を利用して、各界でご活躍の方をお招きし、人生の先輩として1年次各教室で話していただきます...

はR日課

Large calendar table with 7 columns (7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月) and 31 rows (1日 to 31日), detailing various school activities and events.



# 高 岐 高 だ よ り

第135号

令和元年5月10日  
岐阜県立岐阜高等学校  
PTA会長 國井 重宏  
印刷/ヨツハシ様  
題字/筑間 敏博



▲校舎と桜



▲対面式

## CONTENTS

- 夢の実現へ向けて全力で挑戦を
- 「心の豊かさ」とは
- 第8回科学の甲子園全国大会
- 心豊かでたくましい岐高生をめざして
- 目標に向かって全力で！
- 平成31年度 進路指導計画
- 平成31年度 大学入試結果
- 各学年団紹介
- 第5回アメリカ東海岸研修
- 第1回マレーシア ポルネオ研修
- 部活動だより
- 6・7月行事予定
- 平成31年度 教職員人事異動

- 学 校 長……………p1
- PTA 会 長……………p2
- 進路指導部……………p2
- 生徒指導部……………p3
- 進路指導部……………p4
- ……………p4
- ……………p5
- 学 年 主 任……………p6
- 進路指導部……………p7
- ……………p7
- 特別活動部……………p8
- 教 務 部……………p8
- ……………p8

しかし、このような時代だからこそ、本校の生徒は、その変化を前向きに受け止めることで、社会や人生を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を

新の一層の進展や、Smart Schoolと呼ばれる超スマート社会の到来などにより、変化が激しく、将来の予測が困難な時代となっています。

さて、現代は、AI、IoTなど技術革新の

個性や能力を、最大限に伸ばすよう様々な教育活動を行っています。この校訓には強い精神力をもって、常に夢の実現に挑戦できる人間になってほしい、という思いが込められており、生徒は、学習だけではなく、文化、スポーツ、さらには科学研究、ボランティア活動にも全力で取り組んでいます。また、本校は現在、「個別のより高度な学習ニーズに対応する」ため単位制を導入し、教育活動の充実を図っています。

平成三十一年度岐阜高校入学式を挙行し、三百六十三名の新入生を迎えました。

本校は、明治六年の創立以来、今年で百四十六年を迎える、全国的にも屈指の歴史と伝統を誇る学校です。校訓に、「百折不撓、自強不息」を掲げ、生徒一人一人の



学 校 長  
折 戸 敏 仁

## 夢の実現へ向けて全力で挑戦を

構想し実現したりしていく可能性を秘めているともいえます。そのために必要なのは、納得行くまで自ら学ぶこと、考えること、工夫することです。

入学式では、新入生に対してそれぞれが持つ夢や希望を叶える方法の参考として、高校生活において期待することを二つ話しました。

一つ目は、この三年間で大いに本を読み、読書を通して幅広い知識や豊富な語彙を身につけ、思考を深めてほしいということです。基礎的な知識や語彙を幅広く持つことの重要性は、すぐに実感できるものではありません。たとえ、今すぐには役に立たなくても、やがて、それは豊かな教養となり、思考の幅を広げ、様々な決断に当たり、多くの選択肢を与えてくれるようになります。

二つ目は、新たなことに全力で挑戦してほしいということです。本校での授業、学校行事、部活動、それ以外にもある様々な活動など、挑戦の場は数多くあります。私は、その挑戦の場において、全力を尽くした先にしか見えない世界があり、それが、大きな可能性を秘めた生徒の将来とつながっていると考えています。また、その挑戦の過程を通して得られた経験を生かすことは、必ず、次に大きな飛躍へとつながります。決して怯むことなく、どんどん新たなことに全力で挑戦してほしいと思っています。

本校では、お子様が充実した高校生活を送り、将来の夢をかなえていただけるよう全教職員が全力で教育活動に当たっています。

保護者の皆様におかれましては、どうか、今後とも本校の教育活動にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 学年だより

## 1 年次団の紹介

○ 年次主任 ○ 副年次主任



1 副副担任 岩田 浩義 (理科)	2 副副担任 石井 安明 (地理公民)	3 副副担任 大橋 聡子 (英語)	4 副副担任 谷口 純哉 (英語)	5 副副担任 ○植田美智留 (英語)	6 副副担任 藤吉真理子 (国語)	7 副副担任 井上 智也 (地理公民)	8 副副担任 大野 玲子 (英語)	9 副副担任 武藤 洋子 (国語)	年次所属 津田 行代 (保健)	【後列右から】 年次所属 岩崎 有子 (音楽)
1 担任 栗田 和輝 (数学)	2 担任 木野村 淳子 (英語)	3 担任 塩澤 一樹 (数学)	4 担任 ○筑間 敏博 (英語)	5 担任 林 美江 (英語)	6 担任 井深 友康 (数学)	7 担任 亀山真美子 (英語)	8 担任 黒井 晶和 (理科)	9 担任 古川 純英 (保健体育)	年次所属 渡邊 泰治 (数学)	【前列右から】

## 2 年次団の紹介

○ 年次主任 ○ 副年次主任

1 副副担任 馬淵 昭宏 (保健体育)	2 副副担任 永瀬 晶子 (理科)	3 副副担任 北川 雅也 (数学)	4 副副担任 森 利香 (地理公民)	5 副副担任 森 有史 (理科)	6 副副担任 福田 順子 (英語)	7 副副担任 ○杉山 美穂 (数学)	8 副副担任 及川 太郎 (理科)	9 副副担任 古川 愛子 (国語)	年次所属 鷺見 敦子 (国語)	【後列右から】 年次所属 伊藤 誠司 (理科)
1 担任 大野 麻未 (英語)	2 担任 ○澤田 宏 (国語)	3 担任 小野 浩志 (理科)	4 担任 安達 裕史 (数学)	5 担任 小澤 友教 (保健体育)	6 担任 三浦 實之 (地理公民)	7 担任 坂本南葉子 (英語)	8 担任 水谷 圭祐 (地理公民)	9 担任 日比 達也 (数学)	年次所属 末岡 良明 (情報)	【前列右から】



## 3 年学年団の紹介

○ 学年主任 ○ 副学年主任



1 副副担任 永井 紀 (保健体育)	2 副副担任 堀口 和人 (英語)	3 副副担任 ○滝 博也 (地理公民)	4 副副担任 柘植 望 (保健体育)	5 副副担任 ○藤橋美和子 (国語)	6 副副担任 白木 聖美 (英語)	7 副副担任 大野 隼人 (数学)	8 副副担任 寺田 智子 (国語)	9 副副担任 北川 英治 (地理公民)	学年所属 田中 諭志 (数学)	【後列右から】
1 担任 藤澤 友祥 (国語)	2 担任 堀川 謙一郎 (理科)	3 担任 覺田 敬 (理科)	4 担任 八代 周士 (数学)	5 担任 日比野良早 (理科)	6 担任 ○川村 謙二 (地理公民)	7 担任 前田 博子 (英語)	8 担任 太田 晶子 (理科)	9 担任 柘植 由衣 (保健体育)	【前列右から】	

# 岐阜県立岐阜高等学校

## 学校案内2019 G146

### 岐高生の活躍

第100回全国高等学校野球選手権記念大会 開会式



「全日本高校模擬国連大会」選考員特別賞ニューヨーク派遣



「模擬国連世界大会」デンマーク大使として

### グローバルリーダー養成事業2018

#### I 基調講演会(同窓会主催)

「医学・医療研究の進歩と未来」



東京大学大学院医学系研究科 神経内科学教授 戸田達史氏

#### II 職業・学問体験プログラム

「『どっちに転んでも困る』をなんとかしたい  
～子どもの貧困と私たちにできること～」



社会活動家 法政大学教授 堀根 誠氏

#### III 最先端科学体験プログラム

●「女性エンジニアとキャリアアップ」



●「空力ボディコンテスト」



#### IV 各種大会体験プログラム

●「科学の甲子園全国大会」総合第4位



#### V 国際交流体験プログラム

●「アメリカ 東海岸研修」



●「マレーシア ボルネオ研修」



## 校訓

# 百折不撓・自強不息

百折不撓(ひやくせつぷとう→一度失敗しても志を曲げないこと)  
自強不息(じきやうふせき→自ら努め続けること)

## 校風

創立以来140余年の伝統の中で、本校の校風は一貫して自主・自立を旨とし、学問を愛し、学力を培うとともに、たくましい気力・体力を磨かんとするものです。

「文武両道」をモットーに、「百折不撓・自強不息」の校訓のもと、いつの時代にも、英知にあふれ、調和の取れた人間の育成をめざしてこの校風は受け継がれています。

## 教育の特色

### 単位制への改編

「個別のより高度なニーズに対応できる仕組み」として、効果的な単位制教育課程の編成

### 主体的な学習態度の育成

「授業で勝負」という言葉を徹底させる初期指導の充実と、主体的な学習態度を身に付けるための学習シラバス(スタディチャート)の提示

### 教科学力の充実

学習ニーズに対応した効果的な「岐阜基礎講座」、「課題探究講座」などを実施し、生徒一人一人の豊かな将来設計の実現を目指し、目標とした大学に合格できる教科学力の育成

### グローバルリーダー養成事業

生徒の夢を叶えるため、各分野において、強い刺激を与える教育環境により、グローバルな視点を持つリーダーとなり得る素養を高める取組を企画・実施

## 挑戦し続ける「岐阜高校」

校長 折戸 敏仁

創立146年の歴史と伝統ある本校で、「百折不撓・自強不息」の校訓のもと、自らの夢の実現へ向けて果敢に挑戦し続ける生徒たち、その夢の実現へ向けて支援を惜しまない教職員、そして、素晴らしい学校施設。このような本校において、グローバルリーダーの育成へ向け「個別のより高度な学習ニーズに対応する」ため、昨年度から単位制へと改編し、教育活動の充実を図っています。

高い志を持ち、特色ある教育活動に主体的、探究的に全力で取り組む生徒一人一人が、将来、国の内外を問わず、様々な分野でリーダーとして活躍してくれることを心から期待しています。

## SI(スクールアイデンティティ)概念図

岐阜高校では、「百折不撓・自強不息」を校訓として、「トータル・パーソン(知性と精神性を高い次元で統合した人間)」を目指す教育諸活動を展開しています。



## グローバルリーダー養成事業に参加した生徒の感想

### I 基調講演会(同窓会主催)

#### 「医学・医療研究の進歩と未来」

先生の研究の話を聞いて、医学は進歩しているのだということ、研究の積み重ねで治る病気が増えているのだとあらためて希望を持った。オーダーメイド治療について、特に興味を持った。



### II 職業・学問体験プログラム

#### 「どっちに転んでも回る」をなんとかしたい～子どもの貧困と私たちにできること～

社会の役に立つということが具体的にわかりました。人のためにという「自己犠牲」のイメージが強いですが、そうではないと気づけました。スキルを身につけ、貧が暮らしやすい社会を作っていく一人になりたいと思います。



### III 最先端科学体験プログラム

#### 「空カポディコンテスト」

見えない空気の流れを想像し、抵抗の少ないデザインを考えました。チームで競うことで他人のアイデアに感心したり、考えたことを立体的な模型で再現することの楽しさを感じました。



## IV 各種大会体験プログラム

#### 「科学の甲子園全国大会」実技競技③優勝

大会に向け個々の能力を高めるとともに、みんなで試行錯誤を繰り返して準備をしました。大会では実技競技③で優勝という結果に結びつき、とても貴重な経験と全国の高校生との交流を深めることができました。



#### 「全日本高校模擬国連大会」テーマ：武器移転

武器移転は、世界的問題の中でも解決法が思い浮かばない難しい問題です。会議では全会一致を目指したものの、結局合意することができませんでした。世界的問題を解決することは一筋縄ではいかないのだと実感しました。



## V 国際交流体験プログラム

#### 「アメリカ 東海岸研修」

英語で討論をしたり様々な分野で活躍されている方々のお話を聞いたりすることで、挑戦することの大切さを学びました。この研修をゴールではなくスタートとして、学んだことを生かしていきたいです。



#### 「マレーシア ボルネオ研修」

私たちが消費者として、環境に配慮した製品を選んで買う行動も環境保全につながる。小さなことでも、人から人へと繋がれば、ものすごい力が生まれる。研修に参加した私たちには、この研修で見てきた、今地球に起きていることを皆に伝える使命がある。



# 1年次生

## 宣誓



私たち新入生三百六十三名は今日ここに岐阜県立岐阜高等学校の入学を許可されました。今年より三年間百四十一年の歴史をもち岐阜高校の生徒の一員であることを誇りとし、文武両道のトータルパーソンを目指します。また、高い志をもち、校訓である「百折不撓、自強不息」を心に刻み、すべての人への感謝をおぼえ、努力を続けていくことを誓います。

平成三十一年四月八日  
平成三十一年要入学生代表 窪田和真

## 1年次集会



### 夢の実現を

1年次 長屋 愛佳

私は、小学生の頃から医師になるために岐阜高校を志望してきました。そして、岐阜高校で学ぶことができる今、夢の実現に向けて勉強に全力で取り組みたいです。また、他の人の考えや思いを尊重することや何事に対しても謙虚な態度を心がけ、人と協調できるようにします。これからの3年間、夢に向かって全力で努力するとともに、良好な友人関係を築き、高校生活を楽しみたいと思います。

## 林間学舎の思い出



2年次 岩田 千紗子

私達は5部に分かれ、2泊3日の林間学舎活動を存分に楽しんできました。

カラッとした暑さの中行った新盆炊さん、何でもありの食事でしたが、仲間と知恵を出し合い作った料理は特別な味でした。

森林限界を突破し、いざ乗鞍岳へ、ロッククライミングのように岩肌を登る箇所もあり、自然の偉大さを感じました。頂上から望むあの美しい景色は今でも心に焼き付いています。

雄大な山々に抱かれ、仲間と過ごした3日間は私達をより深く、強く結びつけてくれました。ここで得た素晴らしい仲間と共に日々精進します。

## 何事にも全力

1年次 恩田 絢

私が入学した日から1週間がたちました。その中で私が最も驚いたのは「先輩方の切りかえのすごさ」です。部活ではそれぞれが全力で取り組み、勉強では授業で集中してやる、そんな切りかえがとても早くすごいのと思いました。校長先生もおっしゃっていたように、「何事にも全力で取り組む岐阜生」は本当にカッコいいと思いました。

これから部活動がはじまって忙しくなるけれど、一つも気を抜かず全力をつくそうと思いました。

## 岐高で目指す

1年次 大洞 栄貴

僕は、将来の夢を実現するためにハイレベルな学習が積み重ねられる岐阜高校を受験しました。中学校までは違う、自由な校風も魅力です。だからこそ主体性が求められます。高校という新しい舞台で、新しい仲間と出会い、毎日の学校生活を楽しんでいます。学業だけでなくたくさんの方に挑戦して心身共に成長し、仲間と刺激し合いながら令和の時代に選んだトータルパーソンを目指していきたいです。

## PSセミナー Parents-to-Students Seminar

PSセミナーも23回目を迎え、平成30年度は9名の講師の方々より、1年次生を対象にお話しいただきました。本講演は生徒の人生観・職業観の育成を図ることを趣旨とし、PTA行事の一環として開催させていただいております。また、当日は岐阜県教育連関でもあり、保護者や地域の皆様方にも受講していただきました。

演題は、「研究者という職業」「食品の研究開発とダイバーシティ」「これから医者をめざすあなたへ」「NEOグループ宇宙部門のご紹介」「人生なんて、いつも「盛り場」」など、どれも生徒たちの興味を引くようなものが多く、キャリア教育の一環として、本校生徒の人生観・職業観育成や進路選択の一助となったことと思います。

### 令和元年度 学校年間行事

<h2>4月</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>●入学式・始業式</li> <li>●対面式・部活動紹介</li> <li>●オリエンテーション(1年次生)</li> </ul>	<h2>5月</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツテスト</li> <li>●遠足</li> <li>●応援練習・歌謡指導(1年次生)</li> <li>●球技大会</li> </ul>	<h2>6月</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>●前期中間考査</li> <li>●心の春ご講話</li> </ul>		



### 修学旅行を振り返って

3年 杉山 斗俊子

私達は3泊4日の長崎、福岡への修学旅行で、ペーロン体験、長崎市内やハウステンボスなどにおける活動を通して、様々な文化や人との交流を楽しみました。仲間と時間を共にし、語り合い、友情を深める有意義な修学旅行となりました。

平和学習では実際に長崎で被爆された下平さんの講話を拝聴し、原爆の恐ろしさや、家族を失い今なお続く原爆の犠牲者の苦しみを知りました。私達が平和な日本に生きている幸せを噛みしめ、後世に平和を伝えなければならぬと深く感じました。



### ジョイントセミナーat東大に参加して

3年 塚本 光郁

普段なかなか入ることができない経済産業省や東大の研究室を詳細に見学したり、東大の講義を受け、直接東大生の先輩と話をすることができたりして、自分の価値観が大きく変化したことがとても印象的でした。at東大を通して、何に対しても受動的ではなく、積極的に行動することはとても大切だと思いました。行事も勉強も何事にも全力で取り組むことで、自分の将来の糧になるだろう経験や、その経験を通して学ぶことが、より多く得られるということが分かりました。このことを自分の高校生活へ活かしていけるようにしたいと思います。



### 部活動紹介

#### 吹奏楽部 東海大会出場

部長 林 里紗

吹奏楽部は現在、1年次生と2年次生合わせて45名で活動しており、短い練習時間の中でも互いに切磋琢磨して演奏技術の向上を目指しています。勉強との両立が大変ではありますが、仲間と共に一つの音楽を創り上げることで喜びや達成感を得ることができる素晴らしい部活です。



主な活動は夏のコンクール、冬のアンサンブルコンテスト、そして3月に行う定期演奏会です。昨年アンサンブルコンテストではサクソフォン8重奏が東海大会に出場し、賞賛をいただきました。その他の活動としては、式典や文化祭など学校行事での演奏、応援団・チア部と合同で行う夏の野球応援などがあります。また、日頃私たちの活動に協力してくださる多くの方々への感謝の気持ちを伝える場が定期演奏会です。前回の第14回定期演奏会には、約1000人の方にご来場いただきました。これからも仲間とともに、よりよい音楽を追求し、練習に励みます。

### 近年のおもな成績

#### 文化系部活動

- 国 語 第 1 回 青年少年賞読書コンテスト、ジュニア油紙展入賞
- 書 道 第 1 回 パフォーマンス全国大会出場、全国高校書道文化祭出場
- 演 劇 第 1 回 演劇祭全国大会出場
- 音 楽 第 1 回 全国吹奏楽コンクール金賞、ギョウワカールアンサンブルコンテスト銀賞
- 文 学 第 1 回 全国高校生総合文化祭出場、東文芸コンクール銀賞部門、小説部門1位、全国高等学校文芸コンクール小説部門優秀賞
- 新 聞 第 1 回 学校新聞コンテスト佳作
- 英 語 科学 第 1 回 Intel ISEF (国際学生科学技術フェア アジア区にて開催)に日本代表として出場し、動物部門2位、高校生科学技術チャレンジJSGC (科学技術教育振興賞(全国2位))、全国高校総合文化祭自然科学部門生物部門優秀賞(全国1位)、高校生バイオサイエンス賞(全国1位)、高校生国際シンポジウムグランプリ(全国1位)、Global Science Link (アジア中学生アイデアコンテスト シンガポールにて開催)に招待出場
- 日本ストックホルム青年学生大賞、優秀賞(全国2位)
- 日本水産学会高校生がスター発表 優秀賞(全国2位)
- 化学賞 東海地区高校化学研究発表交流会優秀賞及1位特賞
- 物理賞 自然科学系部活動研究発表交流会奨励賞
- E. S. I 第 1 回 高校生国際プレゼンテーション大会優秀賞、第1回アジアズドジョニアフット(コミュニケーション)
- 第 1 回 高校生国際創作グランプリ(グラフィック)、第1回国内探検コンクール優秀賞
- 第 1 回 高校生美術展入賞、第1回写真賞コンテスト、第1回高校生文化祭年賞優秀賞
- 新 聞・文 学 全国高校総合文化祭、全国高校新聞新人大会、全国高校新聞部手帳全国大会出場
- 祝 典 第 1 回 東海アンサンブルコンテスト銀賞
- クイズ研究 全国高校クイズ選手権全国大会出場、全国高校生創作経済クイズ選手権大会優勝

7月 ●PTA個別懇談会 ●夏季休業  
●林間学会活動(1年次生)  
●夏季課題探究講座

8月 ●ジョイントセミナーat東大  
●エンパワメントプログラム  
●経高祭(文化祭・体育大会)  
●林間学会活動(1年次生)

9月 ●卒業生と語る会  
●前期期末考査  
●前期終業式





## 硬式野球部

主将 田原 宏志朗

岐阜高校硬式野球部は甲子園出場を目標にして活動しています。2018年度の春、夏、秋の県大会で3季連続ベスト8を経験し、準々決勝以降の高いレベルでの試合で勝ち抜けるチームを目指して練習に励んでいます。また、2018年夏の甲子園第100回記念大会では、第1回大会から連続して出場しているレジェンド15校の一つとして、主将が甲子園での開会式で入場行進をしました。その先鋒の姿を見て、今度は全員で甲子園のグラウンドに立とうという気持ちがいっしょになりました。



日本最古とされる岐阜高校硬式野球部は、野球以外の面でも全国の高校野球部の模範となるべく活動しています。また、毎年2月に行われる東京大学野球部との合同練習などの経験を活かしながら、高いレベルでの文武両道を実践し、勉強と野球両面で結果を残せるよう全力で取り組んでいます。

## 全国高等学校文芸コンクール 小説部門優秀賞

酒井 南実

文芸部は1年に2冊、部誌「Lotus」を制作しています。そこに掲載した小説が、全国コンクールで優秀賞をいただきました。全国というレベルの高い場所に自分の作品が並んだことが、本当にうれしかったです。



授賞式では、芥川賞作家である奥原光先生の講演を聞くことができました。また、選考された先生方と受賞者が集まり、講評会も行われ、生徒同士での交流もありました。それぞれの創作への取り組み方を知ることができ、とても貴重な経験になりました。

## 運動系部活動

硬式野球 全国高校野球選手権岐阜大会ベスト8、岐阜県大会ベスト8(21世紀枠岐阜県代表)  
陸上競技 東海高校総体出場、東海高校新人大会出場、東海高校新人優勝(3000m障害)  
サッカー 全国高校総体岐阜県予選ベスト8  
バレーボール 東海高校総体ベスト16、東海高校新人大会ベスト16  
バドミントン 東海高校総体、東海高校選手権大会ベスト8  
ソフトテニス 東海高校新人大会ベスト16  
水泳 東海高校総体出場、福井しあわせ元気国体出場  
卓球 中部日本卓球選手権大会、東海卓球選手権大会出場  
バドミントン 東海高校総体、東海高校新人大会ベスト8  
柔道 東海高校総体、東海高校新人大会出場  
剣道 東海高校総体、東海高校新人大会出場  
空手道 東海高校総体準優勝、東海高校総体出場、全国高校空手道選手権大会出場  
テニス 東海高校総体ベスト8、東海高校新人大会準優勝、東海大会出場、東海新人戦シングルス優勝  
バドミントン 東海選手権出場

## 局・その他

部 会 全国高校ピバリアトル大会優勝、全国大会出場  
部 活 東海高校総体コンタクト競技部門出場  
部 活 クラブ 全国高校生ホームプロジェクトコンクール優秀賞

## 岐阜高等学校 応援団について

応援団長 谷川 優

本校応援団は、大正5年、旧制岐阜中学の野球部の応援団を興ったのが始まりとされています。現在も、野球の応援はもちろん、新入生に対する歌唱指導や応援指導、東海大会や全国大会出場選手への壮行会など学校行事の様々な場面で活躍しています。



毎年1月に行われる大学入試センター試験の前日には、受験生に対する激励会を開きます。青空の下、学生室にはたしあて勇壮な演舞を披露した後、高得点を祈念してバケツの水をかぶる姿は、恒例の行事となっています。

10月

- 修学旅行
- 修学旅行(2年次生)
- P9セミナー
- 芸術鑑賞会

11月

- 基調講演会(同窓会主催)
- 会期中間考査(1・2年次生)
- 学年末考査(3年生)

12月

- 主催者教育講演会
- PTA個別懇談会
- 冬季休業



修学旅行



基調講演会(野田達史氏)



主催者教育講演会(木村厚太氏)



センター試験激励水こり

**叔歌**

千仞の嶽金峯の  
百里の水長ま川  
芽陽の健心  
こゝに生まれて  
爾家の為  
明り青北等ふ

学海の波荒きとも  
希望の岸遠きとも  
事陽の健心  
心雄しく  
百折不換  
つとめてまよす  
奮へ奮へ  
誇り最古の歴史あり  
我が高枝の誉れは  
誉げよ諸人諸共に

今春卒業生の声

「充実と満足の高校生活」



吉村 航汰

皆さんの中には、岐阜高校は勉強のための学校だと思っている方がいるでしょう。もちろん、岐阜高校は県内屈指の進学校であり、先生方が授業の内外で勉強のサポートをしてくださいます。また、赤本や模試・定期試験の過去問などが揃ったFPC室や、自習室など、校内の設備も充実しています。しかし、その一方で部活動も非常に盛んです。運動系・文化系を問わず、多くの部活が実績を残しており、実際に、私も硬式野球部に所属し、文武両道を体験することができました。さらに、岐阜朝や球技大会などのイベントでは、誰もが本気で楽しみ、最高のひとときを過ごします。つまり、岐阜高校は、勉強したい人、部活を頑張りたい人、高校生活を満喫したい人、全てのニーズを兼ね備えています。ぜひ、岐阜高校で最高の3年間を送りましょう!

「充実した高校生活」



萩野 瑠紀

岐阜高校に入学すると、勉強漬けの毎日になってしまうかな、と思っていました。しかし、実際は満足、球技大会、文化祭や体育大会などたくさんの行事があり、充実した楽しい日々を送ることが出来ました。何よりそれらの行事に対し、みんなが全力で取り組む雰囲気や岐阜高校にはあるのだ、思い出せる高校生活を送らせてくれます。また、岐阜高校ではレベルの高い授業が日々行われています。私は女子バスケットボール部に所属しており、部活を引退するまでは、部活中心の毎日で、授業以外に勉強に費やす時間をあまりとれなかったのですが、大学受験でも無事第1志望校に合格することができました。皆さんも岐阜高校に入学して一生の思い出に残る3年間を過ごさせませんか?

進路状況

一人一人行きたい大学・学部・学科は違います。その希望が一番重要であると本校は考えます。高い志を持った生徒たちが、目標実現のため一歩決めたことはやりぬく、まさに校訓を実践する生徒様々の姿がここにあります。

合格者の多い大学

大 学 名	H29	H30	H31
東 京 大 学	13	19	16
岐 阜 大 学	46	43	49
岐 阜 産 科 大 学	7	3	10
名 古 屋 大 学	49	52	39
名 古 屋 市 立 大 学	19	16	23
京 都 大 学	26	20	23
大 阪 大 学	19	18	13
国 公 立 医 学 科	38	31	37
国 公 立 大 学 合 計	295	284	300
慶 應 義 塾 大 学	21	27	31
東 京 理 科 大 学	53	62	60
早 稲 田 大 学	53	50	27
南 山 大 学	100	64	83
岡 本 社 大 学	100	119	109
立 命 館 大 学	105	108	108
私 立 大 学 合 計	833	819	760

合格者数には過年度卒業生を含みます。

卒業証書授与式

卒業証書授与式は、多くのことを教えてくださいます。私の入部した自然科学部化学科では、先輩が、FPC室・FPCの設備や授業の状況などに関する質問に丁寧に答えて、東海地区代表として、東京の大学で発表を行いました。先輩は合意を済ませ、離れ去るまで卒業証書の作成までおこなってくださいます。ある先輩がおっしゃっていた「岐阜高校は単なる文化祭や運動会だけの学校ではない」という言葉が、私の心に強く響いています。

卒業証書授与式は、多くのことを教えてくださいます。私の入部した自然科学部化学科では、先輩が、FPC室・FPCの設備や授業の状況などに関する質問に丁寧に答えて、東海地区代表として、東京の大学で発表を行いました。先輩は合意を済ませ、離れ去るまで卒業証書の作成までおこなってくださいます。ある先輩がおっしゃっていた「岐阜高校は単なる文化祭や運動会だけの学校ではない」という言葉が、私の心に強く響いています。



在校生時代 田中 華



送辞(後巻)

本日は卒業式を迎え、皆さまをこの思い出に残します。入学以来3年間、私たちは、この岐阜高校で多くのことを学びました。林間学習や修学旅行、生徒会活動として関わった学校祭での貴重な体験や思い出、部活動での厳しい練習、大会での勝利、結果、卒業の仲間との人間関係に悩むことなどもありましたが、また毎日の小テストや授業、自分が頑張る姿を認めた瞬間なども簡単に忘れてしまわないでほしいと思います。私には特別な思い出や思い出、それを振り返るたびに3年間を過ごしてよかった、そのことが、強い精神力や幅広い知識となって私を支えてくれています。

本日は卒業式を迎え、皆さまをこの思い出に残します。入学以来3年間、私たちは、この岐阜高校で多くのことを学びました。林間学習や修学旅行、生徒会活動として関わった学校祭での貴重な体験や思い出、部活動での厳しい練習、大会での勝利、結果、卒業の仲間との人間関係に悩むことなどもありましたが、また毎日の小テストや授業、自分が頑張る姿を認めた瞬間なども簡単に忘れてしまわないでほしいと思います。私には特別な思い出や思い出、それを振り返るたびに3年間を過ごしてよかった、そのことが、強い精神力や幅広い知識となって私を支えてくれています。



卒業生時代 三浦 崇之

1月

●センター試験参加(3年生)



センター試験参加(クイズ大会)

2月

●生徒会校内行事(1・2年生)  
●改則式・贈呈式



表彰式・贈呈式

3月

●卒業証書授与式  
●学年末考査(1・2年生)  
●海外研修 ●修業式・贈呈式



卒業証書授与式

海外研修



## 令和元年度 大学合格者数

大学名	合格者数
北海道大	5
東北大	4
茨城大	1
筑波大	8
群馬大	1
千葉大	1
お茶の水女子大	1
東京大	14
東京外大	3
東京学芸大	1
東京工業大	1
一橋大	2
横浜国立大	6
富山大	3
金沢大	3
福井大	1
信州大	1
岐阜大	44
静岡大	7
名古屋大	50
名古屋工大	20
三重大	2
滋賀大	4
京都大	19
京都教育大	1
大阪大	10
神戸大	9
広島大	8
徳島大	2
香川大	1
高知大	1
九州大	3
長崎大	1
岐阜県立看護大	1
岐阜薬大	10
静岡県立大	1
名古屋市立大	16
滋賀県立大	3
大阪市立大	1
大阪府立大	8
兵庫県立大	3
神戸市外大	2
高知工科大	1
自治医大	2
青山学院大	13

大学名	合格者数
北里大	4
慶応大	33
駒澤大	3
芝浦工大	5
順天堂大	3
上智大	13
昭和女子大	1
中央大	30
津田塾大	1
東海大	1
東京女子大	1
東京農大	1
東京理大	53
東邦大	1
東洋大	3
日本大	2
日本獣医生命大	1
日赤看護大	3
法政大	5
武蔵野大	1
明治大	57
明治学院大	1
立教大	8
早稲田大	34
麻布大	4
金沢工大	1
朝日大	3
岐阜聖徳学園大	9
岐阜医療科学大	2
愛知大	17
愛知医大	10
愛知学院大	4
愛知工業大	1
愛知淑徳大	2
金城学院大	8
椋山女学園大	8
中京大	23
中部大	3
同朋大	1
豊田工大	10
名古屋外大	3
南山大	93
日本福祉大	2
藤田医大	4
名城大	91

大学名	合格者数
名古屋学芸大	4
日赤豊田看護大	1
長浜バイオ大	1
京都女子大	3
京都橘大	2
京都薬大	4
同志社大	120
同志社女子大	4
立命館大	111
大阪医大	1
大阪薬大	1
関西大	12
関西外大	1
近畿大	5
関西学院大	5
奈良大	1
岡山理大	2
福岡大	1
防衛医科大学校	1
気象大学校	1
防衛大学校	4
岐阜市立女短	1

過年度卒業生を含む

令和2年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会運営委員会 名簿

	昭和52年卒	昭和62年卒	平成9年卒
運営委員長	松波 和寿		
運営副委員長	関谷 賢市 野田 俊之	川崎 賢二	兼山 英治
事務局	◎川島 均 ○佐伯 正人 浅野 祐史	森崎 成城	見田村勇磨
総務部	◎佐伯 正人 ○浅野 祐史 宗宮 英雄 平光恵美子 野原 正美 久松 明美 小林 俊彦	藤井 研一	小塩 智彦
財務部	◎宇佐見 了 ○小栗 正敬 ○古田 万紀	林 聖文 小野 裕子	石原 由寛
会報部	◎伊藤 辰也 ○豊田 光昭 高木 和義 村上 啓雄 石井 勇人	福島佳代子 後藤 純子 江崎 裕子	和田 尚大 小栗 正寛 小川 宗志 小川 莖子 服部 明修 奥村 拓也
広告部	◎東 真人 ○石博 一博 杉山 博将 服部 和樹 高橋 弘子 福井 和彦	澤田 大輔 糸尾 幸司 中田亜希子 荒山 徳統 川崎 賢二 山田 達男	奥村 拓也 稲葉 聡 馬場 浩三 兼山 英治
動員部	◎田口弥生子 ○西垣 和彦 小林 政人 真野 芳宏 服部 賢二 小野 精三 松野みどり 小川 広通 久保 裕 服部 和樹 関谷 賢市 林 孝行 福井 和彦 麻田 尚宏 尾村 幸俊 豊田 光昭 平光恵美子 稲葉 友紀 久松 明美 宇佐見 了 出口 京子 小島まゆみ 宗宮 英雄 小塩 英治	田代 慎一 渡辺真由美 藤田 勲 古田志乃雅 森崎 成城 山田 達男	馬場 浩三 辻 高明 粥川 壮優 市橋 昌宏 平尾 江利 高木 郁衣 野田 理恵 高木 周平 石屋 法道 金子
在京動員部	◎守屋 聡 ○脇田 美佳 河合 和彦 小川 広通 松葉 弘志 伊藤けいこ		
会場部	◎坂井田 実 ○坪内真由美 宗宮 英雄 豊田 哲也 岩田 英樹 福井 和彦 西田 二郎 福井 哲真 堀 道一 澤田 智子 山田 裕子 坂	北川小有里 丸山 貴子 藤田 勲 古田志乃雅 松尾 真吾 松本 千里 高瀬 浩子 鈴木 庸子	坂井田武尊 吉福 成人 岩田 英嗣 佐野 悟志 草野 明 高橋 健
監査役	鈴木 智子	川崎 賢二	草野 明

◎責任者 ○副責任者

応援团团歌

- 一、 金華城頭月冴えて  
蓋世の英雄信長の  
万象すべて沈黙なり  
雄図の跡に苔むしぬ
- 二、 嗚呼熱血児信長の  
ありし昔を偲びては  
覇業は夢と消え果てど  
健児無量の想ひあり
- 三、 熱血受けし一千の  
桜の香り身に沁みて  
心一つの健児等が  
根城構へて百三十二年
- 四、 悲壮の風の吹き荒び  
校の徽章の桜花  
混濁の波逆巻けど  
身もて護る健児団
- 五、 如何なる敵の迫るとも  
破邪の剣をぬき立てば  
寄せ来る仇は多くとも  
竜車に向う螭螂ぞ
- 六、 敵に鬼神の勇あるも  
我には紅き血潮あり  
仇に天魔の計あるも  
からくれなるを見ずや君
- 七、 さはあれ心せ同胞の  
桜の花の散るあらば  
香りは永き百三十二年  
散るその下に死なん哉
- 八、 誘ふ嵐に散らされず  
朝日に匂ふ桜花  
尽くせし心の現はれて  
その花の下に我れ立たん

凱旋歌

- 一、 泰山厲と消ゆるとも  
誓って桑梓に見えじと  
我が身に功なかりせば  
出でし華陽の健男児
- 二、 されど見よ見よ今はこれ  
姿を変えて悠々と  
我が大丈夫は帰り来ぬ  
身に大功の光そへ

## ▽広告のご協賛の

### 御礼

令和二年度岐阜高等学校同窓会の総会・懇親会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、誠に残念ながら中止となつてしまいました。しかし、会報は発行するという事で、発行に際し、広告のご協賛を賜りました皆様には厚く御礼を申し上げます。なお、ご紹介順序は会報の構成上、原則的に順不同となつております。何卒ご了解頂きますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

令和二年六月吉日

岐阜県立岐阜高等学校同窓会  
令和二年度総会運営委員会

## 編集後記

今年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催の年、誰もが日本選手団の活躍する姿を間近に見て、感動することを待ち望んでいましたが、新型コロナウイルスという「見えざる敵」に遭遇し、延期となってしまいました。それ以外でも日本経済に与える影響は計り知れないものがあり、世界最高レベルの質と評価されていた日本の医療も医療崩壊の危機に直面しています。

今回の会報誌については、そのような環境下で、医療や福祉に従事している方々による座談会を開催し、新型コロナウイルスについても語っていただきました。結果的に「新型コロナウイルスの年」との振り返りが出来るよう、関連する新聞記事等も掲載させていただきました。また、高校の資料室に展示してある往年の資料のアーカイブ化も令和元年度の会報誌を継承して行いました。

編集の企画から原稿の収集まで、会報部の委員の皆さんには、部長としての力不足をお詫び申し上げますが、我々が卒業した当時をなつかしみながら、またもしかしたら、この会報誌が皆さんのお手元に届く頃には、新型コロナウイルスの感染拡大が収まっていて、コロナ後の対策を検討しながらご覧いただければと存じます。

最後に、原稿をお寄せいただいた恩師の方々、卒業生の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、副部長の昭和五二年卒の豊田光昭さん、昭和六二年卒の福島佳代子さん、平成九年卒の和田尚大さんをはじめ、職務ご多忙にもかかわらず会報誌の制作にお力をお貸しいただいた皆さんに、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

会報部長 昭和五二年卒 伊藤辰也

令和二年度  
岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会

# 会報

■発行

令和二年六月十四日

■編集

岐阜県立岐阜高等学校同窓会

令和二年度総会運営委員会

■印刷

サンメッセ株式会社